

多彩な暮らし、叶えるまち。— 田園都市しおじり —

地域と学校とが協働して取り組む  
塩尻市 コミュニティ・スクール  
2025年度 実践集

2025年度 塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

**10年間の成果を感じ、10年先を見据える**

～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

熟議

協働

マネジメント



[絵] 広丘小3年  
高橋 璃菜 さん  
「みんなで育てた  
おいしいぶどう」



塩尻市 HP



塩尻市教育委員会

○巻頭言 塩尻市コミュニティ・スクール10年 そして ……1

塩尻市 教育長 佐倉 俊

■ **塩尻中学校区**の取組

- \*塩尻東小…………… 2~5
- \*塩尻西小…………… 6~9
- \*塩尻中……………10~13

塩尻市CS&公民館フェスタ



■ **広陵中学校区**の取組

- \*桔梗小……………14~17
- \*広丘小……………18~21
- \*広陵中……………22~25



■ **丘中学校区**の取組

- \*片丘小……………26~29
- \*吉田小……………30~33
- \*丘中……………34~37



■ **塩尻西部中学校区**の取組

- \*宗賀小……………38~41
- \*洗馬小……………42~45
- \*塩尻西部中……………46~49

■ **榎川小中学校**の取組 <義務教育学校>

- \*榎川小中 ……………50~55

■ **両小野学園**の取組 <保小中一貫教育・両小野学園>

- \*両小野学園 (小野保育園・北小野保育園・両小野小・両小野中) ……56~61

● <特別寄稿>「コミュニティ・スクール10年を振り返る」 ……62~71

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」 ……72~74

\*平成29年度第1~2回学校運営協議会におけるGW(グループワーク)を通して共有したもの

◆「塩尻市教育委員会の窓から」 ……75~76

## 塩尻市コミュニティ・スクール 10年 そして

平成 28 年 4 月、塩尻市内のすべての小・中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとしての活動がスタートしました。そのコミュニティ・スクールは、今年度 10 年目（両小野学園は 11 年目）という節目の年を迎えました。これまでの各校のコミュニティ・スクール活動の推進に、ご理解ご協力を賜りました、すべての皆様に感謝を申し上げます。

この取組みは、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を理念とした塩尻市教育振興基本計画において、育てたい人間像として定めた、「社会を生き抜く力を備えたひと、郷土を知り、誇りと愛着をもったひと」の育成に、コミュニティ・スクールというツールが最も有効であると考えたことから始まりました。この 10 年間を振り返ると、子どもたちに社会を生き抜く力や郷土に対する誇りと愛着を育もうと、地域と学校が力を合わせ一生懸命取り組み、多くの「こと」や「もの」を創り上げてきました。その結果、その学校らしい、またその地域らしい特色ある活動が創り出され、徐々にステップ・アップし、10 年たった今では伝統となりつつある「こと」や「もの」もあります。そして、一番の成果として、子どもたちを中心として、地域の多くの「ひと」がつながりました。

一方、軌道に乗り出したコミュニティ・スクール活動でしたが、令和元年度末からの約 3 年間は、コロナ禍により、創り上げてきた多くの活動が制限を受け、足踏みをしました。各校が分散登校やオンライン授業、学級・学年閉鎖という出口の見えないトンネルの入口に立たされた中でも、各コミュニティ・スクールは、校内の消毒、オンラインでの活動や感染対策を万全にした上での活動などに創意工夫して取り組んできました。令和 2 年度の実践集のテーマは「アンダー コロナ禍 未来につながる大きなチャレンジ！」です。この困難な状況に対しても、地域と学校が力を合わせ、前を向いて乗り越えてきたチャレンジが、今につながっています。

コロナ禍を経験した私たちは、子どもたちの豊かな成長には、子どもたちが多様な「ひと・こと・もの」と出会い、交流するなどの体験活動が欠かせないこと、また、よりよい地域づくりには、学校を核として「ひと」がつながり、「こと」や「もの」を創造していく営みが欠かせないことを実感しています。この実感をもとに取り組んできました、ここ数年のコミュニティ・スクール活動は、コロナ禍前に戻るだけではなく、さらに充実、進化を遂げています。そのような他校の実践に学びつつ、これからの 10 年を見据えて、自校の実践の取組みを広げたり質を高めたりするために、本実践集をご活用いただければ幸いです。

塩尻市教育長 佐倉 俊

# 塩尻東小学校コミュニティ・スクール

本校のグランドデザインでは「さあ！Try！地域から学ぼう！」を掲げ、地域の人やものを学ぶことを通して地域を大切に、地域に誇りをもつ子どもの育成に注力してきました。

「地域の方に手助けをいただく」「地域の方と協働する」「地域で体験をする」という視点で活動を進めてきましたが、昨年度からはそれに加えて「地域に発信する」「地域に働きかける」「地域に貢献する」という、一つ段階を上げた活動を進めてきました。

## 活動を進めるうえで大切にしたこと

1. 子どもの自発的な活動を促し、自由な発想を生かすために「やってみたい」という気持ちを最大限尊重する。
2. 活動を「自分のこと」として引き受け、能動的な態度を養うために、教師や地域がすべてお膳立てするのではなく、失敗を認めながら子どもたちが活動を決め、地域の方にサポートしていただくようにする。
3. 「地域の方」というカテゴリーに「保護者」を加えることで特定の方に常にお世話になるのではなく、様々な方に関わっていただきながら持続可能なコミュニティ・スクールとなるようにする。
4. 子どもや先生方の要望を聞き、関係機関との連絡調整を密にしながら、効果的な予算執行に努める。



## クラブ活動の成果を発表

阿禮太鼓を指導してくださった方々と音楽会でセッションしました。

「もっと伸び伸びと動きをつけて、躍動感のある音にしたい」という子どもの願いを受けて、公民館の協力を得て広い練習場を確保することができ、太鼓の腕も上達しました。

音楽会に来てくださった方からは「迫力のある太鼓だった」「地域の伝統に触れることはすばらしい」という感想が寄せられました。



### 1年生「せかい<sup>いち</sup>のポップコーンやさん」

保育園で培ってきた「やってみよう」という意欲を小学校でどう生かしていくかを考える中で、「ポップコーンづくりで、おうちの人にボランティアで参加してもらおう」というアイデアが出てきました。

おうちの方に見ていただいているという安心感から、「もっとおいしいものを作るにはどうしたらいいだろう」「お店に来てもらうにはどんなことを工夫したらいいだろう」という問いが子どもたちからどんどん出てきて、最後は担任はただ見ているだけでよいというくらい、手際がよくなりました。



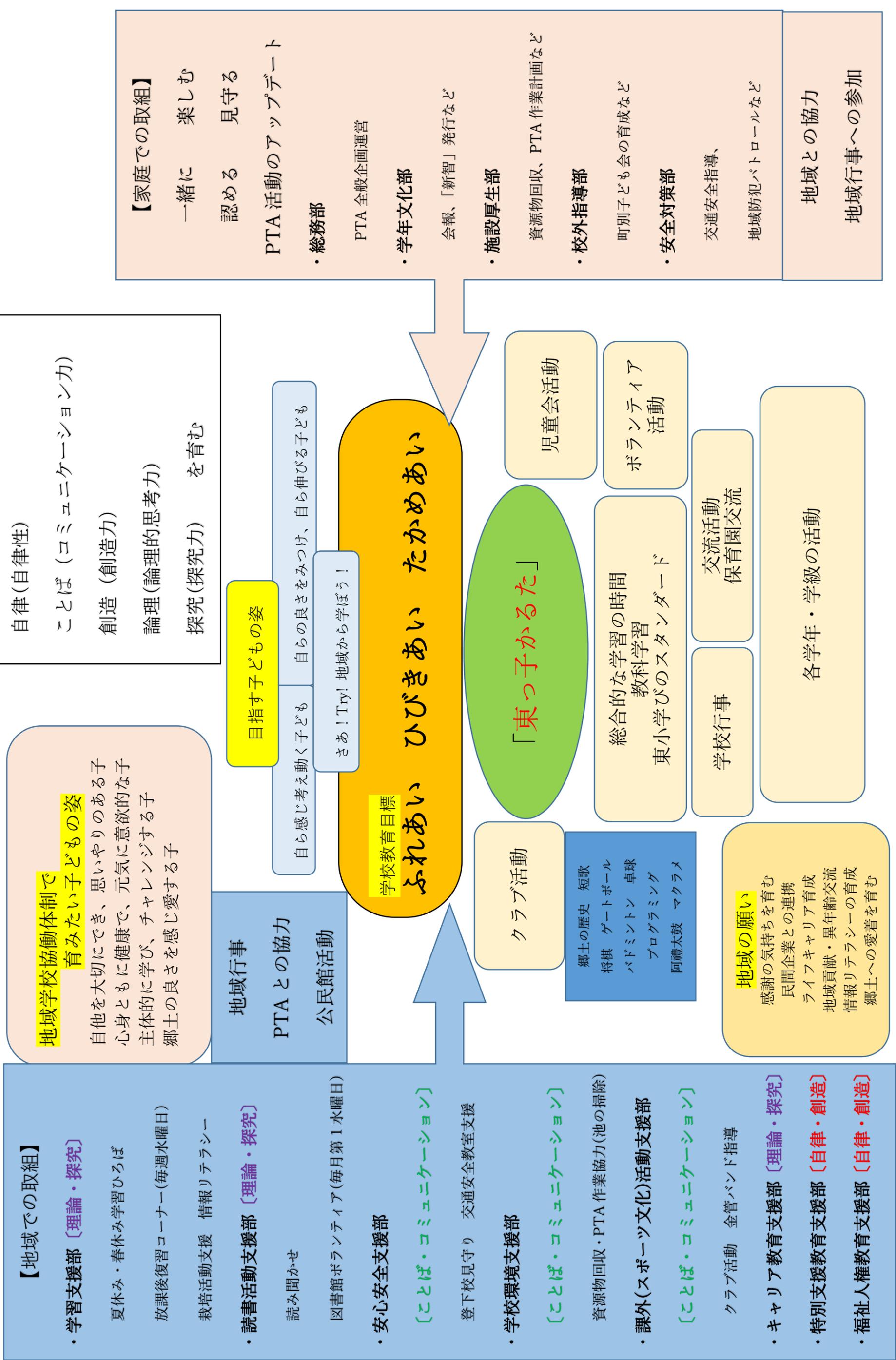
### 3年生「東地区の宝 ミズバショウ（水芭蕉）」

本校に伝わる「東っ子かるた」に「早春のみどり湖に咲くミズバショウ」という札があることを知った子どもが、実際に水芭蕉を育ててみたいという願いを実現させたいと、交渉の末、地域の方を招いて移植を試みました。この水芭蕉は枯れてしまうのですが、子どもたちは「今度は絶対成功させたい」と工夫をしました。

また、水芭蕉の魅力を多くの人に知ってもらうために「水芭蕉だんご」を作りたいと商品開発を始めるとともに和菓子屋さんに協力を求める電話をしました。

#### 1年間を通して見えてきたこと

1. 子どもたちの創意工夫を地域の方が快く受け止めてくださったことで、大人と関わることに抵抗がなくなってきた。しかし、時には厳しく指導する、再考を促すという態度で接していただいたため、地域で生きることの難しさ、それゆえの誇りに触れることができた。
2. 担任と地域の方がねらいを共有し、「あえて失敗させる」という鷹揚な態度で子どもと接することで「粘り強さ」「工夫」「協働性」といった非認知能力を高めることができた。
3. 一方、学校支援コーディネーターのご尽力があるものの、学校としては地域の材の発掘や人材確保といった点においては課題がある。



令和7年度 塩尻市立塩尻東小学校 地域教育協議会活動計画

赤字：新規、今後CSと絡めそうな活動

学校運営協議会 地域教育協議会	部長	副部長・委員	PTA 会長 副会長	児童会	学校職員 教頭	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
						学運協① はるやすみ 学習ひろば 東子カルタ	放課後学習会 情報 リテラシー		学運協② なつやすみ 学習ひろば	クラブ活動 全4回 一昨年度 3年生 消防団活動		ミス/ festa 日程未定	学運協③	学運協④ 地教協②				
1	学習支援部		放課後学習会講師の皆さん 授業補助ボランティアの 皆さん															はるやすみ 学習ひろば
2	スポーツ 文化活動 支援部		クラブ講師の皆さん							クラブ活動 全4回			クラブ郷土 の歴史学習 発表会参加					
3	キャリア 教育 支援部																	
4	福祉・人権 教育支援部												人権講話・人権教育 特別支援教育支援部会と合同での体験講座 (例) プラインドウウォーク・車いす体験					
5	環境整備 支援部		<資源物回収 PTA+地域> P役員変更	花壇づくり		資源回収			阿禮神社例 大祭清掃				PTA作業 (池の清 掃)					
6	特別支援 教育支援部			ベルマーク	児童会 ベルマーク 集め									福祉・人権教育支援部会と合同での体験講座 (例) プラインドウウォーク・車いす体験				
7	安心安全 支援部		安心安全支援部の皆さん		登下校時の 見守り													
8	読書活動 支援部		読み聞かせ 活動 ボランティア		読み聞かせ :図書館 ボラ活動													
9	公民館活動				教頭	はるやすみ 学習ひろば			なつやすみ 学習ひろば			ミス/ festa (こども広場) 日程未定						はるやすみ 学習ひろば

※学習支援部会とキャリア教育支援部会を統合し、支援の立体化(教育課程に即した)、人員の確保に当たる

※特別支援教育支援部会と福祉・人権支援部会を統合し、関係性の有機化を図り人員確保に当たる

# 塩尻西小学校コミュニティ・スクール

西の大人（学校・地域・家庭）が力をあわせて、西の子の育ちを見守り、支えています。学習支援部、スポーツ文化活動支援部、キャリア教育支援部、福祉・人権教育支援部、環境整備支援部、広報部、特別教育支援部、安心安全支援部、読書活動支援部、公民館活動の各学校支援部会を組織し、様々な場面で地域の皆様のご支援をいただいています。

## 【本年度の主な活動】

☆：本年度から始めた取り組み

<p><b>【日課】</b> 7:40 児童玄関 開扉</p>	<p><b>【登校の見守り】</b> 交差点で、児童の横断を支援。安心・安全な登校をサポート</p> <p><b>【おはよう先生】☆</b> 児童玄関で子どもたちとあいさつ・雑談をする。落ち着いた1日の始まりをサポート</p>	
<p>8:20 朝の活動</p>	<p><b>【西の子エプロン 読み聞かせ】</b> 朝の時間に教室で読み聞かせ（おもに木曜日の朝の活動の時間）</p>	<p><b>【環境整備活動】</b> ○花壇ボランティア 主に、朝や夕方の時間を使って、児童玄関前の花壇の水やり、草取りなど、植栽の手入れを行う ○PTA作業への参加 PTAとともに、草取り等の環境整備を行う ○ぶどう棚の整備 枝の剪定、下草の除草等</p>
<p>8:45 授業開始</p>	<p><b>【学習・学校行事・校外学習の支援】</b> 各学年の活動内容に応じて、子どもたちの活動が充実するよう、安全の確保や学習活動の補助を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習や裁縫実習の支援 ・手話について学ぶ講座の開催</li> <li>・かけ算九九の学習を支援</li> <li>・図工の制作活動の支援（刃物の使い方等）</li> <li>・水泳指導の見守り ・交通安全教室で交差点での見守り</li> <li>・地域の施設見学等の引率補助（カインズ、平出遺跡、アルプスイン、ニデック、消防署等）</li> <li>・クラブ活動の講師（茶道、ニュースポーツ、プログラミング） 等</li> </ul>	
<p>12:20 給食</p>	<p><b>【西小ライブ】</b> 休み時間に、西の子や西の大人が自分の表現したいことを発表する場として、毎月数回開催 ダンス、歌、バンド演奏、和太鼓演奏、塩尻音頭</p>	
<p>13:20 清掃</p>	<p><b>【西の大人の学校】</b> 西の大人が学んだり、懇談したりできる場を企画し運営する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 西小カフェ（PTA 三役による懇談会）、老いない脳をつくる（信州介護福祉専門学校）、すぐに使える！前向きにすることば</li> <li>・10月 給食レストラン（給食試食会）</li> <li>・12月 子どもとわたしたちの心の健康 本でつながるおしゃべりカフェ</li> </ul>	
<p>13:35 授業開始</p>	<p><b>【西の子チャレンジタイム】☆</b> 月・火・木・金曜日の放課後に開催（月8回程度）。子ども達のチャレンジしたいことをサポート。安全管理だけでなく、講師を務めたり、ともに活動を楽しんだりすることも。</p>	<p><b>【放課後おさらい教室】</b> 水曜日の放課後、4～6年生を対象に、子どもたちの学びに寄り添い、支援する。</p>
<p>14:40 低学年 下校</p>	<p><b>【下校の見守り】</b> 子どもたちに声をかけ、安心・安全な下校をサポート</p>	
<p>15:30 高学年 下校</p>	<p><b>【学習ひろば】</b> 長期休みに大門地区センターを会場に子どもの学びに寄り添い、支援する。</p>	
<p>16:00 課外活動 終了</p>	<p><b>【学校運営協議会】【地域教育協議会】</b> 地域住民と学校がいっしょになって、やりたいこと・できることを相談したり、地域の情報を共有したりする。保護者にもっと知っていただくために「ガクウンキョーだより」を複数回発行する。</p>	

できる人ができるときに 西の子も西の大人も共に活動を楽しむ



おはよう先生 登校した子に声かけ



いっしょにベルマークの分類



いっしょにぶどうの収穫



西小ライブ 和太鼓演奏



九九を覚えたから言ってみよう



チャレンジタイム 走り方教室

「おはよう先生」「西の子チャレンジタイム」など、都合のつくときに学校に来ていただき、子どもと共に活動する機会を増やすことができました。また、活動に賛同し、協力して下さるボランティアの方も少しずつ増えてきました。しばらく休止していたベルマーク活動は「ベルマークで座談会」として今できるスタイルで再開しました。いろいろな大人との関わりの中で、子どもが安心して充実した学校生活を送ることができました。

広報の充実 ガクウンキョーだより・案内チラシ



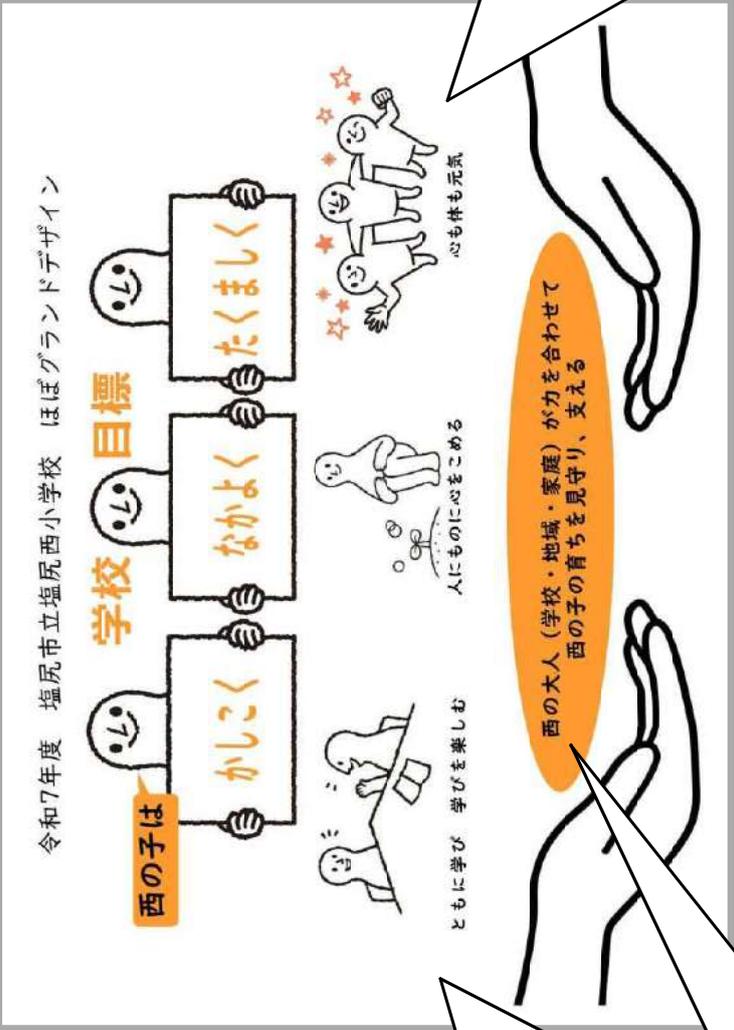
学校運営協議会で取り組んでいる様々な活動、そこに関わる人の思いを知っていただきたく、「ガクウンキョーだより」を発行しました。また、各種企画の参加者募集については、チラシを作成。気軽に参加していただけるように工夫しました。

今年も、知識や経験を生かして、多くの方に学校の教育活動に参画していただきました。学校が、一層、大人も子どもも気軽に集うことができる場となるように、学校運営協議会で話題になった「やりたい」を具現化できるよう、次年度も、さまざまな活動を企画していきたいと思っております。引き続き地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

# 塩尻市立塩尻西小学校 アクションプラン2025

～学校目標具現に向けて地域学校共同体制でなができるかな、できそうかな～

- ・英語学習→姉妹校、地域とコラボ、世界の塩尻市を知る。
- ・西小Youtube→セキリテイアの学習
- ・いつもの授業に大人も参加して授業を受ける
- ・放課後学習支援ボランティア
- ・長期休業に公民館で学習支援
- ・大門地区の史跡巡り・地域の昔を知る
- ・子どもが先生：保護者、地域向けICT教室
- ・親子で人権教育
- ・夜の絵本お話し会
- ・得意分野を伝える場の設定
- ・野外活動への参加・公園巡り
- ・ドッキリ(いたずら)を考えよう
- ・大門地区内オリエンテーリング
- ・方言を作った塩尻の昔話
- ・社会に出て行くための地域教育
- ・教師と児童の接点が縮まる環境作り
- ・不自由な生活体験
- ・手話であいさつができる
- ・親の仕事を紹介するキャリア教育
- ・西の大人も一緒に社会見学



- ・大人からどんでんあいさつ
- ・西の子と西の大人と一緒に高ボッチ登山
- ・地域のレジェンド(太鼓、音楽・茶道・書道・ダンス・歌など)と体験会
- ・塩尻音頭と一緒に踊る
- ・参加しやすい西の大人だけの活動
- ・高ボッチ高原FMの活用
- ・スーホの白い馬：馬頭琴と朗読
- ・夏休みとかに地域の人々が教える〇〇教室
- ・キッズフリマ
- ・安心安全のための街頭指導
- ・相手の痛みが理解できる話し合いの時間
- ・クイズ大会・スポーツテストの協力
- ・保護者ではなくても学校行事に参加
- ・男女の壁を越える道徳教育
- ・公民館主催行事への西の子の参加
- ・社会の善悪をしっかりと教える
- ・西の子と西の大人で学校清掃
- ・運動会までカウントダウン(正門から見るところ)
- ・大人も参加できる運動会
- ・昔の遊びを一緒に

- ・西小の子の好きな遊びをやる
- ・読み聞かせに地域の人も参加を!
- ・西の大人が気軽に参加できる仕組み作り(ネットを活用して)
- ・老人クラブや地域の人たちと花壇づくり、落ち葉集め→焼き芋!
- ・夜のごはん会
- ・場になじめない子の見守り、一緒に行動
- ・各支部の行事のやり方(準備、進め方など)を大人と一緒に
- ・勝手に好きなきただけ見守り活動(登下校)ハイタッチしよう!
- ・体育館で西の子と西の大人と一緒に映画鑑賞
- ・三九郎など、〇〇町ごとではなく、地域活動を大きくしたい
- ・「なかよし」ってどんなことか考える
- ・固定しない、良いリーダー育成
- ・ゴミリンピック
- ・カラオケ大会
- ・ブドウ収穫祭
- ・好きな野菜を作り・ブドウジュース作り
- ・外国の文化を学ぶ
- ・行ってよい、場所の雰囲気作り
- ・高齢者と西の子のお茶会
- ・玄蕃まつり参加
- ・学用品リサイクル促進
- ・地域の人達が自由に授業参観

## 西の大人もいっしょに成長

西の大人が力を合わせて、西の子みんなの成長を見守ります。支えます。そして、いっしょに成長します。

## 西の大人みんなで考えよう

西の子は かしこく なかよく たくましく  
 そのために、西の大人の仲間とどんなことができそうかな。  
 どんなことをしたいかな。  
 話し合ってみよう。

令和7年度 塩尻市立塩尻西小学校 地域教育協議会活動計画

No.	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校運営協議会	学運協①			学運協②					学運協③		学運協④	
地域教育協議会	西の大人の学校	地教協①		CS交流会							地教協②	
1	はるやすみ学習会	お願いしませの会	放課後おさらい教室		なつやすみ学習会					放課後おさらい教室	ありがとうの会	はるやすみ学習会
2		お願いしませの会 スポーツ補助6人				クラブ活動 3回					ありがとうの会	
3	ブドウ栽培		総合的な学習								コミク festa	
4								手話講座 3回				
5	学校花壇づくり補助		PTA作業と 合同で環境整備	玄蕃まつり 清掃			体協の他団体とも合同で PTA作業と 合同で環境整備					
6												
7	特別支援教育支援部	スポーツ テニスボランティア	音楽会の 楽器運び ボランティア		ベルマーク収集・集計							
8	安心安全支援部											
9	読書活動支援部		読み聞かせの 活動									
10	公民館活動	はるやすみ学習会			広陵中学区 桔梗小も参加 夏休み学習会						コミク festa	はるやすみ学習会

## 主な活動の紹介

### 1. 「地域ふれあい学習」

塩尻中学校では、総合的な学習の時間（週1回程度5・6校時に設定）に5月から10月まで年間を通して「地域ふれあい学習」を行っています。この学習は、16講座を設け、各講座には専門的な知識・技能をもつ地域の方を講師としてお招きし、生徒が講座を選択して1回約100分、年間8回の学習を学年の枠を超えて行います。地域の文化や歴史、日本の伝統芸能、芸術、文化、体験的学習など、普段はなかなかできない活動・学習に取り組み、新たな発見や学ぶことの楽しさを味わうことができます。

塩嶺祭（文化祭）では、各講座で制作した作品や学習の成果を展示したり、地域に出かけて調査したことや、練習をして身に付けた表現などをステージ発表したりして、学習の成果を全校で見合い、保護者や地域の皆さんにもご覧いただきました。

その道を究めた地域の講師の方々から、技能はもちろん生き方についても学ぶことができる学習です。講師の先生方には、熱心にそして温かく生徒にご指導いただきました。



碁



生け花



阿禮太鼓



郷土の歴史



短歌



アート



空手



料理



ギター



日舞



福祉



アクティブ・ブック・ダイアログ



書道



農業体験



手話



地域の魅力発信

## 2. 地域の方々による学校支援

【放課後学習会】水曜放課後（年間22回）に学習ボランティアさんによる学習支援を行っていただいています。生徒は自分の学習を進めながら、分からないことをすぐに質問できる環境で安心して学びに向かっています。

【授業支援】家庭科の調理実習（1・3年）や浴衣の着付け、特別支援学級での畑の作業など、様々な活動に対して地域の方々が授業支援をしてくださいました。それぞれの活動に対して専門性を生かした学習支援により、広がりや深まりを味わい、より充実した授業となりました。また、教師の働き方改革にも大きく貢献していただいています。

【スポーツ文化活動支援】男女バスケ・剣道・サッカー・女子ソフトテニスの5つの部で指導をいただいています。また、吹奏楽部の大会やイベントで楽器運搬のご協力をいただいています。日々の練習で支えていただき、各種大会や地域のイベントにも安心して参加することができています。

【環境整備】学校備品の修繕、職員・保護者の砂利駐車場の整備、駐車場への電灯設置作業、積雪時の除雪など、多くの箇所の修繕や整備を行っていただいています。



## 2. 地域への貢献・発信

### 【吹奏楽部による演奏会】

「ほたると音楽のタベ」（塩尻東地区センター6/21）、「オール大門フェスティバル」（レザンホール11/30）で演奏し、地域の皆様に吹奏楽部による演奏を聴いていただき、それぞれのイベントを音楽で盛り上げました。

### 【阿禮神社清掃】

阿禮神社例大祭の翌日の登校前に、ボランティア委員会とボランティア生徒が阿禮神社を清掃し、お祭りで出されたゴミ拾いを行います。華やかなお祭りの裏で、お祭りを支える地域の方々の思いを知り、さらに地域の伝統的な行事への思いを深めることができました。

### 【地域運動会ボランティア参加】

塩尻東地区ふれあい運動会（10/12）でボランティアとして3名の生徒が参加しました。ボランティアに参加した生徒は、市民タイムスの取材で「まちの人の頑張りを見届けたい」と思い参加した。こういう行事が、もっと増えたらいいし、続いてほしいと語り、ボランティアを通して地域のよさを改めて実感しました。

### 【地域イベント「ローカル・ナイト・ピクニック」への協力・参加】

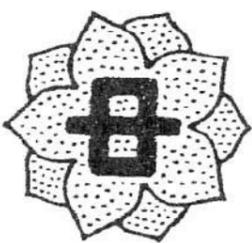
ふれあい講座の一つである「地域の魅力発信講座」では、平出遺跡で行われた「LocalNightPicnic」（10/11・12）に参加し、スタッフの方々と関わりながらイベント運営の手伝いを行いました。これまでの講座の中で探究してきた成果を生かし、参加者と交流しながら地域の魅力を発信しました。



ふれあい講座では、地域の講師の方による丁寧な指導の下、生徒のみならず教職員も多様な学びと体験を得て大きく成長することができました。また、学習及び部活動への支援や、安心・安全ボランティアによる見守り、環境整備の協力など、多岐にわたる地域の方々の尽力により、生徒たちは安心できる環境の中で健やかに育まれています。今後も、教育目標「理想に向かってともによりよく生きよう」の具現に向けて、地域社会に積極的に関わる中で、「地域とともに育つ学校」を目指していきます。

# 塩尻市立塩尻中学校 地域学校協働体制で育みたい資質・能力&アクション・プラン 2025

< **ことば** (コミュニケーション力) ・ **自律** (自律性) ・ **創造** (創造力) ・ **論理** (論理的思考力) ・ **探究** (探究力) > を育む



**【地域での取り組み】**

- 学校外での学習支援 (不登校・引きこもりの子どもや多様な家庭環境の子どもへの学習支援)
- 声かけ・あいさつの持続
- 相手に関心を持ち、相手から関心をもたれることを経験する
- 異年齢でのふれあい
- あらゆる世代と話ができた場を設ける

**【家庭での取り組み】**

- 家族一緒に食事をして話をする
- 親子一緒に読書する
- 一緒に過ごす
- SNSの使い方を一緒に考える

**【子どもの取り組み】**

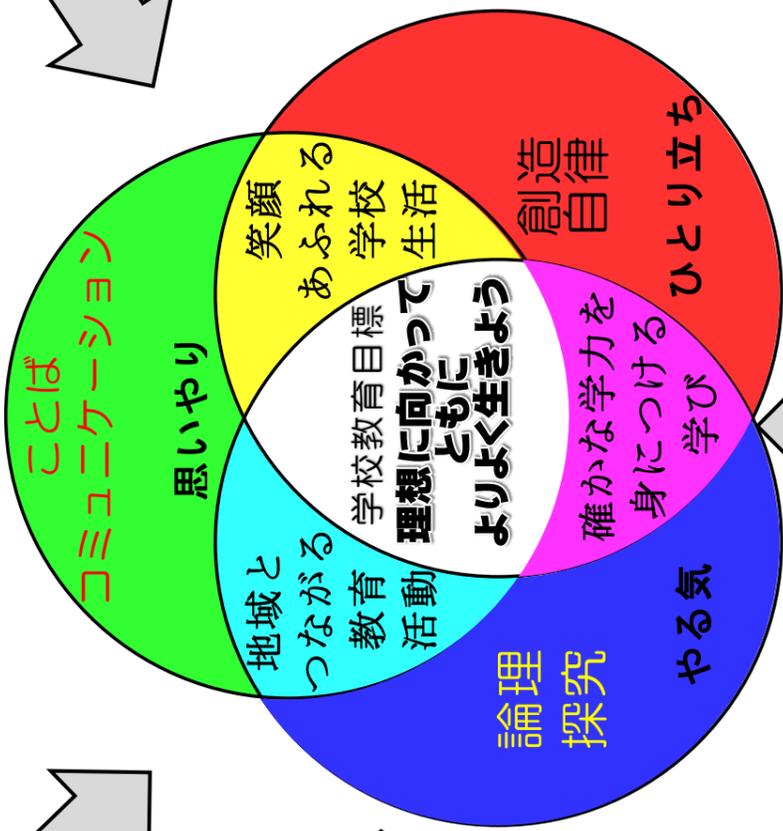
- 友達と協力する
- 思いを言葉で表し伝える
- 相手の立場になって考える
- あいさつをする
- 自分を支えてくれる人に気づく
- 感謝の気持ちをもつ

**地域参加・参画**

地域ふれあい学習 (16講座)  
環境整備支援 読書活動支援  
公民館活動 (学習ひろば等)

**協働・連携**

福祉・人権教育支援  
安心安全支援  
小中連携支援



**【地域での取り組み】**

- PDCA サイクルの理解・取り入れ
- 周囲の大人が質の高い質問を中学生に問いかける

**【家庭での取り組み】**

- 親子で一緒に考える
- 得意とする・興味のある分野において見守りフォローする
- 創造力を育みフォローする
- 新聞の斜面を読む

**【子どもの取り組み】**

- 人前に立つ仕事を引き受ける
- 考えて行動する
- 芸術について詳しく調べ、知る
- 技能教科の授業
- 自然を感じる
- 良い点・悪い点を考え客観的な見方をする
- 授業の復習
- 疑問は調べる・解決する
- ニュースを見る
- 「なぜ」 そうなったか考える (物事の本質を求める)
- テストの振り返りをする (弱点を見つけて次へ向かう)
- 清掃の振り返りをする (課題や良い点を見つける)

**【地域での取り組み】**

- 憧れを抱ける場の設置 (職業体験・高校教諭・会社経営の話)
- 「こうありたい・こうになりたい」 職業・趣味・人物像をもつ
- 中学生が企画をリーダーし地域の一員としての自覚を育む
- 関わわる姿勢をつくる
- 学校生活・学習・部活動の中で、成熟感・自己肯定感を育む

**【家庭での取り組み】**

- 自分のことは自分でできる様に見守る
- 否定せず、一緒に考える
- 事実を目を向け進めていく姿を親が自ら示す

**【子どもの取り組み】**

- 家事を手伝う
- 自分の意見をもつ
- 清掃で自分も磨く
- レクレーションの計画
- 自分で創り上げたり考えたりする
- 生活の中から学ぶ
- 将来を考え、先を見据える

**学力向上**

学習支援  
学習支援  
学習支援  
学習支援

(放課後学習会・はるなつやすみ学習ひろば)  
キャリア教育支援  
スポーツ文化活動支援

令和7年度 塩尻市立塩尻中学校 地域教育協議会活動計画

< ← 今後CSと絡めそうな学校の活動

ねらい：地域教育協議会と学校との協働活動により、生徒の学習や体験活動の充実を図り、生徒が地域の一員としての自覚、地域への誇り・愛着を深め、学校教育目標「理想に向かってとにもによりよく生きよう」の具現を目指さず。

留意事項：「できることを できるひとが できるひと」を基本とし、学校・地域ともに無理しての活動とならないよう配慮する。

	部長	副部長・委員	PTA	生徒会	学校職員 (○主)	取組案	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校運営協議会					○ (支援コ) (教頭) (教務主任) (会計)	協議会運営 全体調整		学運協①		学運協②			14日,15日	学運協③	学運協④			
地域教育協議会								地教協①										地教協②
1 学習支援部		(放課後学習) (授業支援) (地域ふれあい学習) (総合的な学習の時間)			○ (放課後学習) (総合的な学習の時間) (家庭科) (まなび)	放課後学習 学習支援 夏休み・春休み学習	はるやすみ 学習ひろば	放課後学習会 (全30回) 地 域ふれあい学習 (全9回)		夏休み学習会 (小・中合同)								
2 スポーツ文化 活動支援部			スポーツ文化 活動運営委員会 (PTA会長)	・体育 ・音楽 ・体育	○ (教務) (音楽) (体育)	部活動支援 地域移行を早踏えて	部活動指導											
3 キャリア教育 支援部	(同窓会長)				○ (進路) (職場体験) (2年)	進路講話 職場体験				<進路講話>								
4 福祉・人権 教育支援部				・福祉	○ (福祉) (人権)	ヘルマータク収集 人権講話・学習 高齢者施設交流					<ヘルマータク収集>							
5 環境整備 支援部				・地域向上 ・美化 ・園芸	○ (美化) (地域向上) (園芸) (園芸) ( (学校管理) )	地域・校内清掃 環境整備 コムシスク・フェスタ 花を一緒に育てる (草取り・水やり)		<ロータリー花壇草取り >><側溝整備>	阿曇神社(清 掃)				<人権講話> <コムシスク・フェスタ>					
6 小中連携支援部					○ (1年主任) (1年) (支援コ)	中1と小6交流支援												<新入生説明会> <中1と小6交流>
7 特別支援 教育支援部					○ (給食) (ハ・モニ) (フレンド)	レク・体験 調理実習 ものづくり			スポーツ体 験									
8 安心安全 支援部				・校風 ・給食 ・保健	○ (校風) (給食) ( (給食) ) (義理)	学校・地域 合同あいさつ運動 給食支援 保健活動	鑑の内言号 安全確認/ 各地域での 活動											
9 読書活動 支援部		東小・西小と連携		・図書	○ (図書) (図鑑部副)	読み聞かせ (地域⇒生徒) (生徒⇒地域)												
10 公民館活動		(区長会) (公民館代表)		・本部	○ (生徒会) (生徒会) ( (教頭) )	地域活動参画 ごみひろい連携 生徒会行事支援	はるやすみ 学習ひろば			夏休み学習会 (小・中合同)								

年間を通してまたは定期的に

<あいさつ運動(校風)・給食支援(給食)・保健活動支援(スマイル・保健室生徒見守り)>

# 桔梗小学校コミュニティ・スクール

## 令和7年度 桔梗小学校CS活動

### 学習・体験の充実

キッズお仕事チャレンジ：地域の大人から仕事に対する思いなどについて学ぶ

チャレンジクラブ(4・5・6年)：地域講師に学ぶ

塩尻志学館高校との交流(3年)：高校生と畑で野菜の栽培・収穫体験

読書ボランティア：読み聞かせ活動、受入れ本の整備など

学習支援：家庭科(裁縫)学習の補助、書写の補助、ぶどう栽培・染め物講師、作物栽培の講師、課外クラブ(すもう、吹奏楽)支援、こいのぼり設置、七夕の竹準備、クリスマスツリー・正月飾りの設置、サツマイモ掘り・焼き芋・干し柿づくり

### 安心・安全の確保

通学路見守り活動

水泳学習の見守り活動

各学年の校外学習の引率補助

2年スケート教室での紐しぼり支援

### 教育環境の維持・向上

樹木の剪定、高枝・枯れ枝の除去

CSルームの整備



<第1回学校運営協議会>

子どもを真ん中にした熟議

CSでどんな楽しいことができそうかな♪

## キッズお仕事チャレンジ 働く大人へのあこがれを！

2025 桔梗小学校コミュニティ・スクール  
キッズお仕事チャレンジ

子どもたちが地域の大人から仕事の魅力を楽しく学ぶ機会

2025年 11/15 (土)  
時間 10:20-11:30(1講座 45分×2講座)  
会場 桔梗小学校 各教室  
講師 地域のみなさん(ワークショップ講師の予定です)

今年も「キッズお仕事チャレンジ」を開催です。ステキな講師の方をお迎えして、働くことの楽しさや大変さなど「新しい発見と、働く大人の魅力を身近に学ぶ機会」を創ります。

新しい色んなコースを盛り込んで！

C1・2・3年生				
あかコース	しろコース	あおコース	きいろコース	みどりコース
しょうぼうし ふくしのしごき	ふくしのしごき ふくしのしごき	きこり はいかつのしごき	きこり はいかつのしごき	しろまろ しろまろ
消防士 ふくしのしごき	ふくしのしごき ふくしのしごき	きこり はいかつのしごき	きこり はいかつのしごき	しろまろ しろまろ
消防士 ふくしのしごき	ふくしのしごき ふくしのしごき	きこり はいかつのしごき	きこり はいかつのしごき	しろまろ しろまろ
消防士 ふくしのしごき	ふくしのしごき ふくしのしごき	きこり はいかつのしごき	きこり はいかつのしごき	しろまろ しろまろ
消防士 ふくしのしごき	ふくしのしごき ふくしのしごき	きこり はいかつのしごき	きこり はいかつのしごき	しろまろ しろまろ

C4・5・6年生

橙コース	紺コース	紫コース
新設コース 新設コース	伝統の先生・外国の習俗と文化 伝統の先生・外国の習俗と文化	ポップスター ポップスター

申込締め切り 10月10日(金)



建設の仕事ってカッコいい！ すてきな髪形にしたいなあ♪

実体験を通じ、仕事の魅力や大人の真剣な姿に触れた子どもたちは、憧れとカッコよさを感じたようです。五感での学びが将来を考えるきっかけとなり、大人になる期待や夢を膨らませる貴重な機会となりました。

## のびしろステージ

地域のみなさんもいっしょに



みんなに見てほしいな！  
自分からすすんで

## チャレンジクラブ

講師や友との関わりを通して  
興味・関心を広げる



地域の行事とコラボ♪  
すてきなランタンをつくりたい！

## 志学館高校との交流

高校生の栽培技術に学ぶ



大きく育ったね！  
高校生と一緒に大根を収穫

## 日々の教育活動の充実



初めての裁縫の授業も安心



楽しみな朝の読み聞かせ

## めだか池復活大作戦

願いにむけて  
友と共に 大人と共に



「この池で、メダカが泳ぐところを見たい！」  
子どもたちと大人たちの願いが現実に

## 学びを支える環境整備



PTAと樹木の剪定



児童玄関に正月飾り



こいのぼりと1年生

10年という大きな節目。これまで「地域とともにある学校」を目指し、共に歩んでくださった皆様に深く感謝申し上げます。

大きな行事の成功を目指して共に作り上げ、成功を喜び合う充実感と共に、私たちが何より大切にしたいのは、日常の中で多くの大人が気軽に学校を訪れ、子どもたちと関わってくださることです。大人が生き生きと活動する姿を見せることこそが、子どもたちにとって何よりの学びとなります。活動を「負担」ではなく、大人自身が「楽しむ」こと。その前向きな姿に、私たち教職員も多くの元気をいただいています。

今後も、様々な方法でつながりを広げつつ、楽しみながら「できること」を積み重ね、11年目からの活動がさらに充実したものになるよう、引き続きよろしく願いいたします。

発信する  
参加してもらう  
協働

学校・子ども・地域・家庭での取り組み

育みたい資質・能力〈領域〉

自律性を育む

他者（もの・こと・人）との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。

コミュニケーション力を育む

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。

創造力を育む

自分にとって初めてのものと価値を創り出す力。

論理的思考力を育む

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。

探究力を育む

物事の本質を探っていく力。

内省的思考を育む

自分の考えや行動を振り返り、これからの自分のあり方を考える力。

【学校教育目標】 心豊かでたくましい子ども

〈知〉 ねばりつよく求める子  
〈体〉 体をきたえ よく働く子  
〈徳〉 素直で、思いやりのある子  
〈善〉 正しく判断し 人のためにつくす子

重点目標  
「自分からすすんで」  
自分で考えて 決めて 動く ききょうの子

地域防災

キッズお仕事チャレンジ

地域に関わる活動（生活科・総合的な学習の時間を通して）

地域公民館

- ・地区別文化祭
- ・地区別・地区公民館清掃
- ・夏休み・春休み学習広場

マップ作り

- ・地域の遊び場マップ
- ・地域の自慢マップ
- ・危険箇所マップ
- ・地域のお知らせマップ
- ・地域の歴史マップ
- ・地域の防災マップ
- ・校区合同CS交流会

チャレンジクラス

- ・約20講座
- ・ユメックスアリーナでチャレンジクラブ

のびしろステージ

- ・のびしろステージ
- ・のびしろノート
- ・のびしろ作品展

地域学習

- ・お年寄りとの交流（1年）
- ・地域探検（2年）
- ・市の働き〜消防・警察〜（3年）
- ・環境（4年）
- ・保育園交流（5年）
- ・地域防災（6年）
- ・地域の歴史（6年）
- ・広陵中との交流
- ・高校生との交流（野菜作りの地域学習（ぶどう作り）

PTA 事業

- ・PTA 作業
- ・広報誌発行（しんばる・トリアングル）
- ・講演会
- ・寺子屋書道教室

児童会活動

- ・あいさつ運動
- ・ボランティア活動
- ・桔梗小祭り
- ・各委員会活動
- ・地区こども会

連携・協働するコミュニティ・スクール

- 中央スポーツ公園
- 新体育館
- 日の出保育園
- 高出保育園
- 塩尻児童館
- 広陵中学校
- 塩尻志学館高校
- 東京都市大塩尻
- 地区公民館
- 市民タイムス
- 信濃毎日新聞
- 地域の食堂
- レストラン

学校運営協議会・地域教育協議会（学校支援ボランティア）・PTA組織

寺子屋行事としての「キッズお仕事チャレンジ」を中心に、地域に関する様々な学習や活動につなげ、自分たちが描く「より良い地域」にするために何をすればよいかを考える（キャリアパスポートにつなぐ）





## 歴史と伝統を土台に つながりを育む 広丘小学校コミュニティ・スクール



広丘小学校は、明治 22 年広丘村の成立に伴い広丘尋常小学校として発足して以来、130 年以上の歴史を重ねてきました。学校にも地域にも確かな伝統が受け継がれています。



### 地域の「宝」～短歌～

「全校短歌の時間」「短歌掲示板」  
「短歌の日」「みてある記」

### つながるの「心」～奨善会～

「新校訓」の教え 公事の心

2025 年の重点

「あいさつ」「公事」と「伝え合い」自分を伸ばす私たち

## 短歌の里「広丘めぐり」「みてある記」

### 広丘めぐり



短歌館協力会の皆様から、短歌の里広丘の史跡について説明していただいています。

子どもたちはその説明をもとに地域への理解を深め、同時に地域への誇りを醸成しています。



六年生が「短歌の里広丘」を地域の皆様や保護者の皆様に紹介します。子どもたちは少し緊張しながらも学びや理解を深めた地域の宝について説明し、やり遂げた充実感も味わうことができました。

### みてある記



…地域に「誇り」を感じる子どもたち

## ボランティアの皆様を支えられた栽培活動や学習活動



ぶどう栽培

こんにゃく芋栽培

なかなか生活の中では味わうことのできない貴重な体験を、学校支援ボランティアの皆様にご支援いただきました。また、九九の習熟や家庭学習の補助などにより、手厚い指導が実現しています。



九九先生



米作り



…人とのつながりを通して、学ぶ「楽しさ」を会得する子どもたち

## クラブ活動



リコーダークラブ

百人一首クラブ

今年十二のクラブが開設され、その多くで地域の皆様にお引き受けいただきました。お招きすることになりました。子どもたちも、地域の活動にのめり込みながら、地域の良さを学び、講師の皆さんに敬意を表します。



放送クラブ



昔のくらしクラブ



…活動に没頭しながら、「憧れ」を抱く子どもたち

合同コミュニティ・スクール研修会や広丘めぐり等の活動において地域の方々からこの広丘について説明していただけることは、学校職員にとっても地域を知ることのできる貴重な機会となっています。子どもたちも、地域の方に学校職員とは違った視点で励ましていただいたり、温かくほめていただいたりしながら活動を行い、人とのつながりを通して、学ぶ喜びを体感しています。

さらに、児童と、ボランティアさんと、学校とが、互いに高め合い、楽しみ合い、無理なく継続できる活動を展開し、地域ボランティアさんと共に歩む学校づくりに努めていきます。

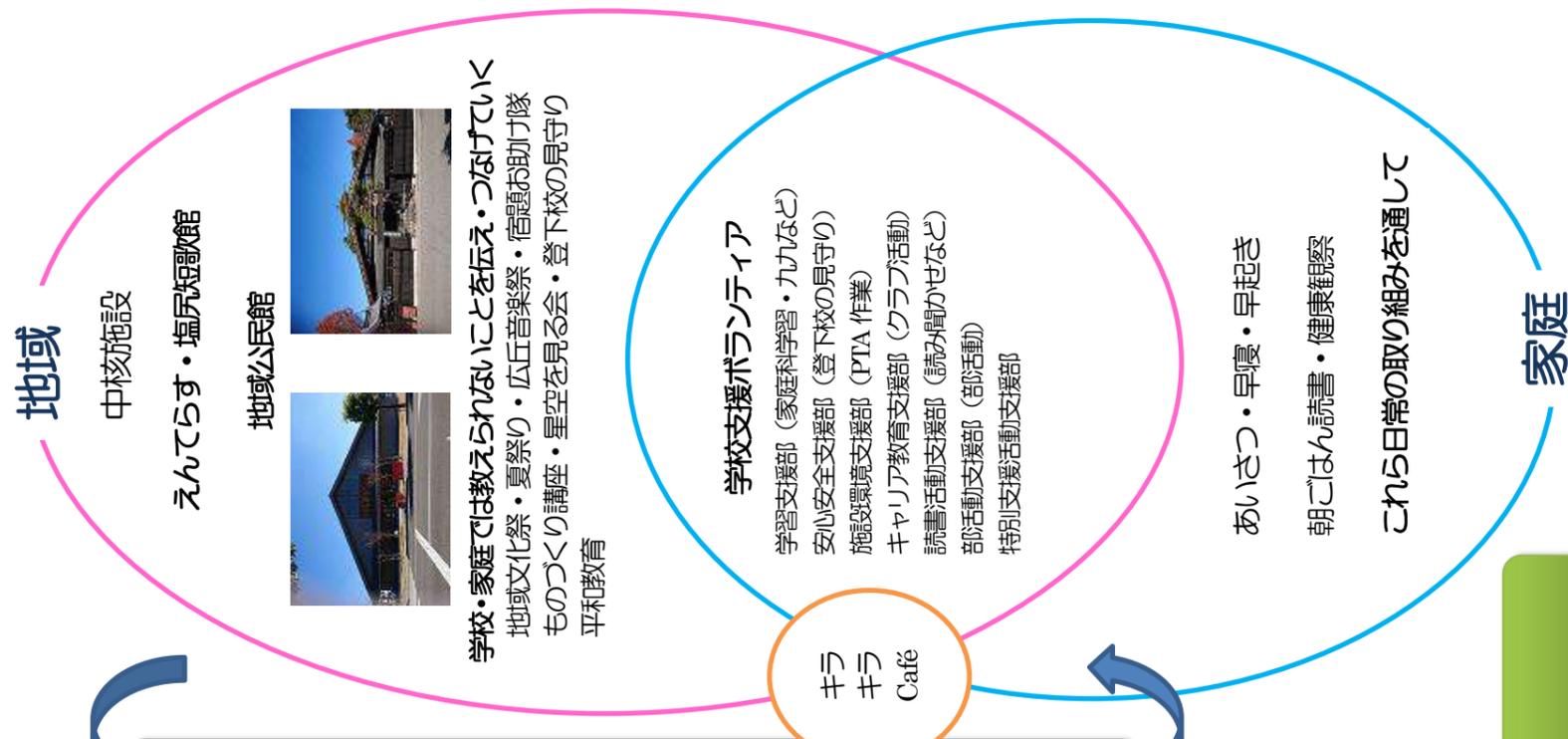


地域・家庭の取り組み

学校・子どもの取り組み

	自律性を育む	コミュニケーション力を育む	創造力を育む	論理的思考力を育む	探究力を育む	内省的思考を育む
1年	学校探検 保育園交流 6年生との交流 生活科遠足			わたしたちの1年間 季節の遊びをしよう		
2年	乗り物遠足 わたしたちが住む町(広丘商店街・えんてらす) 歯科大生による歯科指導			大きく育て「あやみどり(大豆)」「こんにやく(芋) 大きくなったわたし		
3年	ぶどう栽培(ブドウ農家交流) 広丘たんけん(わたしたちの塩尻市) 商店街・お店・市場のひみつ			消防署・市役所・短歌館見学 ぶどう栽培 昔のくらし		
4年	<b>奨学会</b> 代表生活・短歌新聞・放送・ 図書・運動・保健・環境・給食・ ボランティア・清掃・マーク あいさつ運動 バルマーク・かっこちゃんシール集め 手話集会・施設訪問・異年齢交流 給食感謝して食べる呼びかけ →SDGsにつなげよう			こまざ野村(施設交流) 環境 ISO 活動 浄水場・クリーンセンター・長野見学 奈良井宿見学・見学新聞作り		
5年				保育園交流 喫煙防止指導 歯科大生による歯科指導 工場(EPSON)見学		
6年				みてある記 1年生との交流 薬物活用防止指導 短歌学習 (短歌館・公園・歌碑・駅・商店街・牛屋・生家)		
PTA 地域	奨善塾 学習、見守りボランティア クラブ活動講師					

地域で学ぶ・地域に学ぶ・地域と学ぶ・地域に学ぶ



学校目標 正しく 強く 美しく

連携・協働するコミュニティ・スクール活動

育みたい資質・能力  
〈領域〉

他者(もの・こ  
と・人)との関  
係の中で、より  
よさを追究し、  
自分で行動す  
る力。

自分と相手とのやり  
とりを続ける中で自  
己理解・他者理解を  
する力。

自分にとって初め  
てのもの  
や価値を  
創り出す  
力。

知識や情報を  
生かしながら  
ら、対象がも  
つ文脈や構造  
を明らかにす  
る力。

物事を本質を  
探っていく力。

自分の考え  
や行動を振  
り返り、これ  
からの自分  
のあり方を  
考える力。

つなげよう、仲良く、あそぶ広丘の子ども、つなげる、つなげる、つなげる

令和7年度 広丘小学校コミュニティ・スクール年間計画

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	給食の楽しみかせ (読書ボランティア)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)	短歌づくり (外部講師) 音楽会に向けて (外部講師)
2年	社会:広丘たんけん (外部講師) 総合:ふどろの育て方 (外部講師)	社会:ふどろの習字 (学習ボランティア) 社会:市役所見学 (地域教材)	社会:ふどろの習字 (地域教材) 総合:畑活動(農協)	社会:ふどろの習字 (外部講師) 総合:畑活動(農協)								
3年	社会:ふどろの習字 (学習ボランティア) 社会:市役所見学 (地域教材)	社会:ふどろの習字 (地域教材) 総合:畑活動(農協)	社会:ふどろの習字 (外部講師) 総合:畑活動(農協)									
4年	社会:ふどろの習字 (学習ボランティア)	社会:ふどろの習字 (地域教材)	社会:ふどろの習字 (外部講師)									
5年	家庭科:初めての裁縫 (学習ボランティア)	家庭科:初めての裁縫 (学習ボランティア)	家庭科:初めての裁縫 (外部講師)									
6年	田んぼづくり・畑仕事 (学習ボランティア)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)	田んぼづくり・畑仕事 (外部講師)
特別支援												
通年活動	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会	学校運営協議会 地域教育協議会
各 地 区 民 館		木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)	木上広場 (野村)



# 自分を語る人を目指して

## ～ 広陵中学校 コミュニティ・スクール ～



### 4月 キャリア教育合同研修

陵風タイム(総合)の地域講師の皆さんと学校職員合同の研修会。年度の始めに思いを共有しました。



### 4・5月コミュニティ・スクール始動

第1回 学校運営協議会



地域ボランティアさんの紹介式



### 6月 キャリア教育出前講座(2年)

「ヘアカラーと前髪カット体験」「爪先を彩るネイルアート体験講座」「動物と関わるお仕事について知ろう」など全9講座を開講。本格的で専門的な体験ができる貴重な時間をいただきました。



### 7月 校区合同 コミュニティ・スクール研修会



コミスク10年の節目に伴い、各校の学校運営協議会長の思いをオンラインで聞き合いました。次の10年に向けてどう進むべきか、ご示唆をいただきました。



### 6～9月 ボランティアさんの 学習支援



### 10月 職場見学(2年)



### 11月 保育園との交流(1年)

# 最後のカリヨンタイム (陵風祭コミスクフェスタより)

昨年度より、2・3年生の縦割り講座別学習「カリヨンタイム」のあり方を検討してきました。より探究的で主体的に、そして自分らしい生き方を考えていく学びするために、長年継続してきたカリヨンタイムの学習は、今年度限りとなります。最後のカリヨンタイムも陵風祭で立派に発表してくれました。また、皆さんのご協力をいただき、たくさん地域に出かけて、学習の成果を発表させていただきました。

## ダンススポーツ講座



見ている人を楽しませよう！全校が一つになって盛り上がるステージを作り上げました。

## めざせ弁論大会講座

自分の考えを最大限伝えるためにはどうしたらよいか、半年間たくさん悩みました。



## プログラミング講座



ちょっと面白いプログラム搭載した、誰でも楽しめるおもちゃを開発！

## ハンドベル講座

大門七区文化祭に呼んでいただき、皆さんに楽しんでいただきました。



## 11・12月地域学習・キャリア学習の新たな試み

### 地域の大人に学ぶ職業観・人生観(1年)



カリヨンタイムの講師の皆さんの思いを存分に受け止めました。

### 地域での合唱交流発表会(3年)



ずっと大事にしてきた合唱。たくさん地域の皆さんに届けました。

### 【今年度の成果・来年度の方向】

ある生徒はカリヨンタイムを終えて「この講座で身につけたことを生かして、**地域へ広げる・関わる活動**をしたい。」「商品開発は**いろいろな人のフィードバック**を受けて、改善したい」といった、さらに人と関わりながら学びを深めたいという思いをもちました。来年度、総合的な学習は大きく形を変えます。このような思いを大切に、あらゆる地域学習の折には、講師の皆さんのご協力をいただきながら、学習を進化・深化させます。

育みたい資質・能力〈領域〉

コミュニケーション力を育む

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解を進め自分の言葉で語ることができる。

自律性を育む

他者（ひと・もの・こと）との関係の中で、よりよさを追究し、自分の姿で語ることができる。

内省的思考を育む

自分の考えや行動を振り返り、これからのあり方について、自分の心と語ることができる。

論理的思考力を育む

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにし、自分の言葉で語ることができる。

創造力を育む

自分にとって初めてのものや価値を創り出し、自分の心と語ることができる。

探究力を育む

物事の本質を探っていく力。自分の心と語り、自分の姿と言葉で道を切り拓くことができる。

めざす生徒像 『自分を語れる人になる』～自分の言葉で語れる・自分の心と語れる・自分の姿で語れる～

地域と共に生徒一人一人を大切にしている学校を目指して

登下校・校内・家庭でのあいさつ、無言清掃・委員会活動等、これまでの活動に加え、多様な人との地域交流・ボランティア活動を通して自分を語り、地域を知り、その過程のつながりを通じ、キャリアパスポート（自分を語るための成長の記録・自己史）を活用しながら、個人の資質・能力を育む。

地域ボランティア活動・地域学習

- ◎人権福祉学習
- ・公民館活動との連携協力
- ◎保育学習
- ・広丘南保育園との連携
- ◎地域参画活動
- ・ゴミ拾い登校
- ・Connect with local
- ・地域ボランティア活動
- ◎部活動地域移行（展開）
- ◎職場体験学習
- ◎地域貢献
- ・Connect with local
- ・生徒の作品の出版
- ・ボランティア活動
- ・社協、活動団体との連携・裁話したびどう提供
- ・ゴミ拾い登校
- ・地域行事へ協力
- ◎学習支援
- ・公民館活動への協力
- ◎カリヨントタイムの発表（学習の成果を地域で）

陵風祭

生徒会活動

あいさつ・歌謡・清掃

カリヨントタイム  
陵風タイム

総合的な学習ステップアップ

- ◎キャリア学習
- ・カリヨントタイム
- ・マナー講座
- ・職場体験学習
- ・職業調べ
- ・キャリアパスポート作成
- ・保小中高連携

- ◎特別支援教育
- ・7, 8, 9組の活動
- ・日本語教室の活動

- ◎部活動
- ・運動部(10)
- ・文化部(4)
- ・社会体育

学校支援ボランティア

- ◎安心・安全
- ・交通安全教室
- ・あいさつ運動
- ・見守り・声かけ
- ◎学習支援
- ・カリヨントタイム講師
- ・放課後学習支援
- ・家庭科実習
- ・農業支援（ぶどう・えごま・かぼちゃ等）
- ・ICT学習
- ・不登校生徒への多様な支援
- ◎環境整備
- ・資源物回収
- ・PTA作業
- ・絆の庭の整備
- ・記念樹整備
- ◎読書活動
- ・図書館ボランティア
- ・読み聞かせ
- ◎部活動地域移行（展開）
- ◎地域啓発・活用・支援

学校・生徒・地域・家庭での取組み

協働活動

学校運営協議会・地域教育協議会・PTA組織・地域公民館・地域自治会（組織間の連携強化）



# 片丘小学校コミュニティ・スクール

## 地域の方との学び

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



ヒラタケの駒うち (①)、せせらぎ清掃 (②)・焼きトウモロコシ・もち米栽培 (③④) は学校支援ボランティアの皆さん、ささら踊り (⑤)・東雲太鼓 (⑥)・フラワーボトル作り (⑦) は各保存会の皆さんに教えていただきながら取り組みました。夏休み中8月21日には「つながろう片丘実行委員会」による中庭夏祭りが行われました。保護者も一緒に飯盒炊きをしったり、公民館との共催で水遊びをしりました。(⑧)

また、クラブデー (⑨) では、様々な分野について秀でた方を地域からお呼びし、地域の特色である自然や、文化、人などから学ぶことができました。

## 読書活動

読み聞かせボランティア (⑩) や、おひさまの会 (⑪) の皆さんによる読み聞かせでは、様々な本との出会いがありました。



## 地域への発信・地域との交流 「つながろう片丘 開校記念の日」

⑫



⑮



⑱



⑬



⑯



⑲



⑭



⑰



⑳

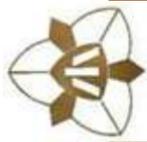


「つながろう片丘 開校記念の日」(10月11日)の中で、各学級で取り組んできた学習活動について発表する機会を設けました。1年生はアサガオの栽培、2年生はウサギの飼育、3年生は保存会の方々に教わった「ささら踊り」(⑫)4年生も保存会の方々に教わった「東雲太鼓」(⑬)、5年生は畑ボランティアの方々に教わった米作り(⑭)、6年生は保存会の方々に教わったカタオカザクラと綿の栽培について(⑮)、児童・保護者に加え地域の方々に向けて発表しました。閉会式では参集したみなさん全員で校歌大合唱を行いました。(⑯)午後には地域の方々の協力を得て、「家族で楽しむブース」を設置することができました。(⑰⑱⑲)また片丘公民館主催の「タやけの丘コンサート」も同日開催していただき、多くの方々に来校していただきました。(⑳)地域と学校が、より一つにつながる催しとして位置付けていきたいと考えています。

＜成果＞学習発表では児童・保護者に加え地域の方(未就学児や高齢者等)も想定し、昨年度よりもわかりやすく伝えるための方策(紙芝居や体験コーナー等)を工夫する姿が見られた。上級生の発表に触れ、進級した際の活動に憧れや見通しを持つ姿が見られた。卒業生(中学生に加え高校生も)の参加があり、つながりが広まった。保存会の方々が児童の姿を見て感動し、活動が活発になったとの話を聞くことができた。

＜課題＞支援ボランティアの募集。

＜来年度に向けて＞「つながろう片丘」を合言葉に中庭夏祭り・開校記念の日の開催や公民館等との連携を継続し、地域にとって学校がより身近で来校しやすい環境を構築していく。



育みたい資質・能力〈市内共通〉

コミュニティ・スクール活動（生徒・学校・地域・保護者PTA・家庭）

**自律性を育む 〈自律〉**

他者（もの・こと・人）との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。  
他者（もの・こと・人）との関わりの中で、自分自身のあり方を問いつつ、自分の行動をよりよくつくる姿。

**コミュニケーション力を育む 〈ことば〉**

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。  
子どもが、ことばを用いて他者（もの・こと・人）と適切に伝え合う姿。

**創造力を育む 〈創造〉**

自分にとって初めてのものや価値を創り出す力。  
知識や経験、技能、感性等を駆使して、音楽表現、造形・絵画表現、身体表現、発想をする姿。

**論理的思考力を育む 〈論理〉**

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。  
子どもが、既習の知識や経験を用いて、対象がもつ文脈を読み解いたり、問題を明らかにしたり、道筋を立てて問題を解決したりする姿。

**探究力を育む 〈探究〉**

物事の本質を探っていく力。  
子どもが、物事の本質・価値・あり方について、意欲的・計画的に道筋をたどり明らかにする姿。

**◎かたおかざくら**

- ・挿し木
- ・フラワーボトル



**◎東雲太鼓**

- ・片丘地区の行事で発表

しのめ

**◎歴史探訪**

- ・片丘地区の史跡を巡りながら地区の歴史を学ぶ

**◎地域巡り**

- ・片丘地区の産業を学ぶ ※バイオマス発電所、ワイン醸造所など

**◎クラブデー**

- ・地域の講師から学ぶ

**◎せせらぎ清掃**

- ・ピオトープの環境整備

**◎丘っ子まつり**

- ・ミニコンサート
- ・ハロウィンパーティー等

**◎図書館支援**

- ・図書館ボランティア 掲示物や装飾活動などの手伝い
- ・読み聞かせ

**◎野菜の栽培**

- ・なす・トマト
- ・レタス
- ・トウモロコシ
- ・大根・大豆
- ・さつまいも
- ・ポップコーン など



**◎米作り**

- ・片丘の田を使い 片丘小の方に学びながら

**◎チャレンジ**

- ・子ども主体の野菜の栽培活動

**スペース**

**収穫祭**

- 焼きトウモロコシ
- レタスの販売
- ポップコーン販売
- 無人販売店



定例 CS会議  
年4回開催  
※内2回は地域教育協議会  
総会も兼ねる

★片丘地区の社会福祉協議会に作ったお米の一部を提供

地域の高齢者にお弁当を配布

児童による地域づくりの一員としての活動

つながろう片丘  
開校記念の日

実行委員会



〈第一部〉  
ふるさと学習発表会〈こども祭り〉

〈第二部〉  
中庭活用イベント  
家族で楽しむブース

〈第三部〉  
たやけの丘  
コンサート

〈児童にとって〉地域と共に活動したり、活動したよさを地域（公民館も含める）に積極的に発信したりして地域の一員としての自覚を深めるよい機会



# 塩尻市立吉田小学校コミュニティ・スクール

令和6年度に引き続き、「こども未来プロジェクト」「こどもやすらぎプロジェクト」「学びお助けプロジェクト」の3つのチームに分かれ、みんなで目指す姿『笑顔でつながる吉田っ子』～本気で「聴き合う」仲間になろう～の実現に向けて活動に取り組んできました。昨年度の活動から、CSを中心に取り組んでいく事業やPTAを中心に取り組んでいく事業をさらに考え、より多くの人々が参加し活動が充実していくことや地域とのつながりを大切にしています。

中でも、吉田夏ゼミは吉田地区の諸団体が連携・協働し、夏休みの取組として過ごしています。



吉田小コミュニティ・スクール、吉田小PTA、吉田体協など吉田地区の子どもに関わる諸団体が連携協働して毎年夏休み中に開催している「吉田夏ゼミ」。今年は7月27日から8月1日までの6日間開催されました。7月27日は吉田小PTAが中心となり「田川に生息する生き物観察」を、7月30日には「セイコーエプソン広丘事業所見学」残りの4日間は午前と午後に分かれた4つの講座：「ニュースポーツを楽しもう（吉田体協）」「楽しい理科教室（丘中科学部）」「楽しい短歌づくり（中山巖先生）」「ノートPCの中身は?（（株）エプソンダイレクト）」を実施しました。講座のある4日間には昼食も提供され充実した楽しい時間を過ごしました。



昨年度から月1回開催されている子ども食堂「ちごちご広場」。夏休みは夏ゼミに合わせて4日間、お昼の提供をしていただきました。今年は季節によってのひと工夫もあり、子どもたちを含め、地域ボランティアの方のお力をいただいております。

### 夏ゼミ:エフ・ソラ見学



学習活動がスムーズに進むように、いろいろな場面で協力をしていただいています。子どもたちの喜びと共に職員の負担軽減や指導の充実につながっています。ボランティアの方々も、子どものためならと率先して参加いただいている、とてもありがたいです。今後も、Win-Winの関係づくりを大切にして活動を進めていきます。



### 交通安全教室見守り指導



### 乗り物遠足付き添い

### 来入見検診補助



### 畑起こし



### マシン指導支援

成果:昨年度の活動を基本とし、1つ1つの活動への取組が充実したものとなっていた。

課題:活動を支えていくボランティアをどのように増やしたり引き継いだりしていくか。より多くの方の参加ができる広報や機会をどのように設定していくか。

今後の方向:夏ゼミだけでなく、さらに地域の方と児童が一緒になって活動する機会を模索していき、地域とのつながりを深めていけるようなコミュニティ・スクールの活動を考えていく。また学校を拠点とした地域のつながりが、さらに深めていけるような取組を考えていきたい。



### 学校運営協議会

吉田の子どもの現状

明るくはつらつとした  
素直な子どもたち

心身の健康管理が難しい  
運動格差が激しい

核家族化の進行  
生活習慣上の課題  
異年齢との交流の不足

ICT機器の活用・情報が  
あふれる社会

自然体験や地域との関わり不足  
バーチャルな体験が体験  
以上に身近なものに

高層マンション建設、交通  
施設の複雑化など都市化し  
ていく地域 安全面の課題

コロナ禍により伝統文化や  
恒例行事が未体験

学校での取組み

【めざす姿】

多様な人々と協働しながら  
自分をより高めていこうとする  
吉田っ子

- 「ねらい」「めりはり」「みとどけ」を意識した授業の構造化
- ICT 機器を利用した視覚支援や個別最適化された学び
- 児童が問いをもてる導入の工夫
- 試行錯誤を繰り返す探究の過程
- 子どもの考えが響き合い、深め合う対話の創造
- 合理的配慮・環境調整を通して、どの子も学びやすい環境づくり

「総合的な学習の時間」(中・高学年)  
「生活科」(低学年)  
「自立活動」(特別支援学級)を中心に

<活動例>

- 春探し・秋探し 飼育
- 米作り野菜作り・収穫に感謝
- 地域の産業を知る
- お年寄りや園児との交流
- きらぼかゆうびんきよく
- 地域に役立つ活動
- ちごちごの花保護
- 劇づくり・発表会
- 短歌づくり・展示・コンクール

地域での取組み

「吉田CSゼミ」を中心に

吉田ならではの学校ではできない学びを

- 吉田のひと・もの・ことを知る
- 吉田のひと・もの・こととつながる
- 吉田のひと・もの・ことから考える
- 吉田のひと・もの・ことのために動く

体験 交流  
参画

<活動例>

- 田川での生き物観察 田川に棲む生物の観察
- セイコーエフソンなど企業見学 グループ毎2時間立事業  
所内を見学させてもらう
- 科学実験 丘中科学部の生徒が講師
- パソコンの分解組み立て エフソンの先生に教わり、感じたことを  
短歌にしよう
- 短歌をつくろう 地域で先生に教わり、感じたことを  
短歌にしよう
- 夏休みの宿題をやっつけろ！ 自分で取り組もう。わからない  
ところは上級生に教わろう
- 宇宙の仕組みを考える 星空を観察しよう
- ウォークラリー 吉田地区の歴史・史跡等をめぐり  
吉田地区のお店や企業のスタンプラリー
- ようこそ先輩 吉田地区の先人の話を聴く  
地域に根ざした方の講師
- 松本空港見学 空港の色んなお仕事を知ろう

登下校の見守り

読み聞かせ

学習支援

育みたい資質・能力 <領域>

自律性を育む <自律>

他者(もの・こと・人)との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。  
他者(もの・こと・人)との関わりの中で、自分自身のあり方を問いつつ、自分の行動をよりよきにつくる姿。

コミュニケーション力を育む  
<ことば>

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。  
子どもが、ことばを用いて他者(もの・こと・人)と適切に伝え合う姿。

創造力を育む  
<創造>

自分にとって初めてのものや価値を創り出す力。  
知識や経験、技能、感性等を駆使して、音楽表現、造形・絵画表現、身体表現、発想をする姿。

論理的思考力を育む <論理>

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。  
子どもが、既習の知識や経験を用いて、対象がもつ文脈を読み解いたり、問題を明らかにしたり、道筋を立てて問題を解決したりする姿。

探究力を育む  
<探究>

物事の本質を探っていく力。  
子どもが、物事の本質・価値・あり方について、意欲的・計画的に道筋をたどり明らかにする姿。

こども未来  
プロジェクト

こどもやすみ  
プロジェクト

学びお助け  
プロジェクト

3つのプロ  
ジェクトチ  
ームによる  
CS活動

# 令和7年度 塩尻市立吉田小学校 CS活動 年間計画

CS活動予定表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例学校運営協議会	CS活動①	定例学運協①	CS活動②	CS活動③	定例学運協②	8月 企業見学 (エブソン)	CS活動④	CS活動⑤	CS活動⑥	定例学運協③	CS活動⑦	定例学運協④	CS活動⑧
CS懇談会 (プロジェクト代表者会)	CS活動①	CS活動②	CS活動③	CS活動④	CS活動⑤	CS活動⑥	CS活動⑦	CS活動⑧	CS活動⑨	CS活動⑩	CS活動⑪	CS活動⑫	CS活動⑬
学習支援	生活科学学習支援 総合的な学習支援 校外学習支援 家庭科学学習支援	春探し 1年遠足 2年町めぐり 3年校区めぐり	裁縫指導	吉田夏ゼミ	2年乗の物遠足 ミシン指導	秋探し 2年乗の物遠足 3年社会科見学 4年社会科見学	しめ飾りづくり	稲刈り	雪かき	2年スケート教室			
キャリア教育	金管バンド部	田植え	花壇整備 おきな草保護	草刈り	花壇整備 おきな草保護	交通安全教室 発育測定補助	来入見学補助	雪かき					
課外活動	金管バンド部	田植え	花壇整備 おきな草保護	草刈り	花壇整備 おきな草保護	交通安全教室 発育測定補助	来入見学補助	雪かき					
読書活動	読み聞かせ 図書館環境整備	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
施設環境	外回り	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
安全安心	登下校見守り	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
特別支援教育	* 調理支援など	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
広報活動	発表・周知活動 運営基盤整備	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
ボランティア名簿以外も含む外部講師	高学年 低学年 全校	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助

★ 「生活科 (1, 2年)」 「総合的な学習の時間 (3~6年)」 は、各学年 (学級) からの依頼をもとに、コーディネーターを通して随時相談させていただきます。また、感染症の状況等で変更になることがあります。



# 地域の皆さんと共に歩む丘中学校

## ～丘中学校コミュニティ・スクール～

### 丘中学校が目指す生徒像

- 自律：自分で考え、判断し、行動する丘中生
- 尊重：互いのよさを認め合い、高め合う丘中生
- 自治：自分たちの力で、自分たちの生活をよりよいものにする丘中生

地域の活力を  
地域の皆さんから  
いただきながら

## 異世代交流の場 CS ルーム「松の間」オープン！

### 学校の願い

校内教育支援センター「すみれルーム」を利用している生徒に多様な他者との関りを提供して、居場所や学びの場を広げてほしい。

多様な学びの場を提供したい

世代を超えた交流を提供したい

学校をより楽しい場所に感じてほしい

### コミュニティ・スクールの願い

- ・共創共学の視点から、学校敷地内に地域の方々が集うことのできる居場所をつくりたい。
- ・校舎内ではなく、ある程度地域で管理できる場所に部屋を確保して、放課後なども活用したい。(社会貢献サークル Dusk)

学校との一層の連携を模索する CS

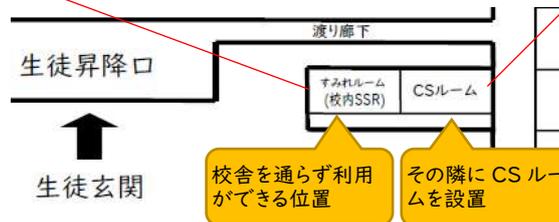
### 双方のニーズを解決する CS ルームの設置

- ・昇降口や校舎内を通らずに利用可能
- ・校内教育支援センターの隣に設置
- ・倉庫として使っていた部屋を改修(昨春秋)



- メリット①** 社会性が育つ
- メリット②** 地域の方が身近にいる安心感がもてる
- メリット③** 異世代交流を通じて地域の方と共に学び合える

- メリット①** 校舎内を通らずアクセスできるので活動しやすい
- メリット②** 学校の日常が見える
- メリット③** 異世代交流を通じて生徒と共に学び合える



新設した CS ルームは、学びや体験ができる社会貢献サークル Dusk の放課後の活動拠点として、また異世代交流の拠点「松の間」として活用されています。社会貢献サークル Dusk は水曜日の放課後に、「松の間」は不定期でそれぞれオープンします。

「松の間」は、地域の方が集って小物づくりやおしゃべりなどを楽しむスペースで、すみれルームを利用する生徒も関心を寄せています。実際に小物づくりやおしゃべりを楽しむ生徒も見られるようになってきました。

今後、すみれルームを利用する生徒と CS ルームを利用する方々との交流により双方のメリットが深まり、共創共学に向けた豊かな取組が育まれていくことを期待しています。

## 「カフェ丘」が来年10周年！生徒と地域の輪が広がり続けています

毎週水曜日、生徒たちの笑顔があふれる丘中学校の「カフェ丘」が、来年10周年を迎えます！地域の方と生徒が世代を超えて交流する、すっかりおなじみの光景です。

その活気は学校を飛び出し、3年前には「地域貢献サークル Dusk」も発足。さらに今年は、左のページで紹介した新たな交流拠点 CS ルーム「松の間」もオープンしました！校内教育支援センターの隣で、生徒たちと CS（地域）の皆さんの温かい交流が生まれることを願っています。

カフェ丘から始まった丘中学校 CS の挑戦は、10年経った今も、進化が止まりません！

### カフェ丘



生徒も大人も楽しいひと時です！

### 地域貢献サークル Dusk



えびの子祭りへの協力  
たくさんのちびっ子と触れ合いました



吉田夏ゼミに科学部が参加  
楽しい科学実験に子どもたちも興味津々



つながろう片丘 OBの高校生とコラボして  
風船バレーを楽しみました



野村夏祭りへの協力  
出逢う笑顔が何よりの報酬です

丘中学校コミュニティ・スクールは、地域社会と学校との共創共学の精神を基盤に据え、生徒の主体性を引き出しながら地域への橋渡しをしたり、地域と学校とのつながりを橋渡ししたりなど、学校を核とした地域との共生を模索し続けています。

目まぐるしく変化していく社会や急速な生成AIの発達など、私たちを取り巻く環境はまさに予測困難なものとなりました。また、多様性を包み込むインクルーシブな社会が浸透し、様々な場が学びの場として位置づく時代です。

こうした社会の変化に主体的に関っていくことのできる学校づくり、そして地域づくりが急務となっている現状を見据え、今まさに学校や地域社会に必要とされる役割とは何なのかを常に模索しながら、子どもたちの笑顔を中心に置き、学校・家庭・地域のより良い連携を目指して丘中学校コミュニティ・スクールを進化発展させていきたいと考えています。

育みたい資質・能力〈市内共通〉

自律性を育む 〈自律〉

他者(もの・こと・人)との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。  
他者(もの・こと・人)との関わりの中で、自分自身のあり方を問いながら、自分の行動をよりよくつくる姿。

コミュニケーション力を育む 〈ことば〉

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。  
子どもが、ことばを用いて他者(もの・こと・人)と適切に伝え合う姿。

創造力を育む 〈創造〉

自分にとって初めてのものや価値を創り出す力。  
知識や経験、技能、感性等を駆使して、音楽表現、造形・絵画表現、身体表現、発想をする姿。

論理的思考力を育む 〈論理〉

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。  
子どもが、既習の知識や経験を用いて、対象がもつ文脈を読み解いたり、問題を明らかにしたり、道筋を立てて問題を解決したりする姿。

探究力を育む 〈探究〉

物事の本質を探っていく力。  
子どもが、物事の真相・価値・あり方について、意欲的・計画的に道筋をたどり明らかにする姿。

コミュニティ・スクール活動(生徒・学校・地域・保護者PTA・家庭)



定例CS会議  
年4回開催



DUSK(ダスク)  
活動

\*企画会議：毎  
水曜日15:30か  
ら開催

\*ダスク活動の



カフェ活動

運営：毎水曜日  
第2時休み時間  
と給食後の休み  
時間

★様々な人たち  
との交流活動

地域づくりに貢献する活動

企画から参加したり、やりたいことを地域(公民館)へ発信したりして、生徒が主体的に活動する

塩尻市

塩尻区  
塩尻小CS

吉田夏ゼミ

玄蕃まつり

えびの子まつり

どんぐりの森まつり

すみれの丘まつり

吉田地区文化祭

吉田防災まつり

ちこち広場  
(こども食堂)

つなばらう片丘  
開校記念の日

タヤけの丘  
コンサート

夏野菜でカシーを  
作ろう

片丘地区文化祭

広丘地区文化祭

野村夏まつり

こまくさ野村  
まつり

片丘区  
片丘小CS

野村区

2025（令和7）年度 丘中学校CS活動 年間活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事 会合等	入学式（4日） PTA総会（30日） 学校運営協議会① （14日18:00-） カフェ丘ミーティング④ （15日16:30-） 年度初め休業（～3日）	生徒総会 交通安全教室 参観日（部活動）	中体連各種大会 1年宿泊学習	2年宿泊学習 夏休み （7/25-8/24） 学校運営協議会② （学校職員参加） （8/27 15:40-） 夏期休業（7/25～8/24）		松参祭 （含：CSフェスタ） 9/26（金）～ 27（土）	（10/31） 参観日 PTA講演会	学社連携フォーラム （県教委主催・総セ） 11/14（金）	保護者懇談会 学校運営協議会③ （12/9 18:00-） 年末年始休業（12/24-1/6）	冬休み 新入生保護者説明会 カフェ丘ミーティング④ （1/27 15:30-）	参観日 前期選抜 学校運営協議会④ （2/12 18:00-）	後期選抜 卒業式 （3/18） （3/19-） 年度末休業
カフェ丘 活動		毎週水曜日										
DUSK ダスク 活動		休み時間に実施 （二時休み、昼休み） 7,14,21,28日 放課後 Dusk（ダスク）活動	3年⇒2年⇒1年の順 4,11,18日	2,9,16,23日	27日	3,10,17,24日	1,8,15,22,29日	5,19,26日	3,10,17日	7,14,21,28日	4,18,25日	4,11日
読書支援	装飾作成										蔵書点検・図書館整備	
安心安全	登下校見守り											
学校環境	春花壇づくり		校地境の草取り 夏花壇づくり	剪定作業		秋の花壇づくり			花壇の片づけ			
PTA活動		PTA作業① 5/25（日）				PTA作業② 資源物回収 9/7（日）						
地域ボラ ンティ ア・生徒 会活動												

玄蕃まつり、吉田まつり、野村夏まつり、えびの子まつり、どんぐりの森まつり、こまくさ野村まつり、すみれの丘まつり、吉田地区文化祭、片丘地区文化祭、広丘地区文化祭、吉田小夏ゼミ、マレットゴルフ、広丘駅イルミネーション、日時計を見る会



## わくわくする探究的な学びを目指して

宗賀小学校コミュニティ・スクールは、学校・地域・家庭が一体となって子どもたちの成長を支える取り組みをしています。地域資源を活用した多様な活動を通して、子どもたちの学びを深め、心豊かな成長を促し、地域との絆を育んでいます。

### 学びを深める活動を



### 地域から学び、ふるさとを誇りに 思う心を育てます



農業体験学習では、にんじんやじゃがいも、さつまいも、大豆など、年間を通してさまざまな作物を育て、収穫しています。土に触れるたびに、子どもたちは「命を育てる」ということを実感します。

10月にさつまいもを掘り上げたときには、「こんなに大きい！」と子どもたちから歓声が上がりました。その笑顔は、地域の皆さんや私たち職員にとっても大きな喜びになっています。

5年生はブドウの栽培体験学習を行っています。単なる体験で終わることなく、「収穫したもので何ができるか」と調理をしたり、「特産のブドウを外国にも伝えたい」と、台湾の小学生と英語で交流したりして、子どもたち一人一人が課題をもって解決していく「探究的な学び」へとつなげています。



6年生は、校地内にある竪穴住居のこれからを考えました。卒業制作としてたくさんの人の思いや願いが詰まった「夢の家」。その思いをどう受け継ぎ、何を未来へつないでいくのか。子どもたちは、目で見て、心で感じ、自分たちなりに真剣に考えました。



ふるさと学習『すがの』は、宗賀の文化や伝統を体験的に学びます。「福祉体験」「スポーツ体験」「ものづくり体験」「宗賀地区の歴史探訪」等々、地域の方々が生徒となり交流する中で、子どもたちの目はいきいきと輝きます。



ニジマスの放流

森の健康診断



どんぐり広場  
子どもたちの思いや願いを形にする場所です

その他の自然体験学習



椎茸の駒打ち



## 育ちを支える活動を

重点的な取り組み  
B

## 子どもたちが安心して過ごせる居場所をつくります



毎週どこかの教室では、本の読み聞かせをしています。読み聞かせの時間には、静かな教室に温かな声が響き、本の世界に浸って心が落ち着く時間となっています。



『すがのわくわくルーム』は、地域の方と触れ合える交流スペースです。毎週水曜日に開かれていて子どもたちが安心して過ごせる居場所となっています。遊びや談話を通して笑い声が響くその空間は、子どもたちにとって、まさに心の拠り所となっています。

授業支援サポートでは、保護者や地域のボランティアの皆さんが子ども一人ひとりに寄り添い、その可能性を広げています。子どもたちの成長を間近で感じられることも、この活動の大きな魅力です。

また、このようなスポット的なボランティアに参加していただくことで、支援に関わってくださる方の輪がさらに広がっていくことを願っています。

こうした活動は、地域の多様な専門部の力によって支えられています。学習支援、読書活動、見守りボランティアの安全安心、わくわくルーム 等々、地域の方一人一人の力が集まって、大きな輪となっています。



## 「ひと・もの・こと」 地域とつながる活動を

重点的な取り組み  
C

## 地域の一員として実感しながら輝く場を広げます



地域の祭りで演奏する金管バンドでは、子どもたちが地域の一員として胸を張り、誇りを持って活動しています。『地域の人に見てもらえるとなんだか頑張れる』。支えてくれる人がいる安心感が、挑戦する力につながっているのを感じます。



地域公開参観日には、収穫した野菜を使って作った「宗賀カレー」を、お世話になった地域の皆さんと一緒にいただきます。サツマイモは焼き芋にして全校でいただきます。お世話になった方々へ感謝の気持ちを伝える機会にもなっています。

## 私たちが目指すのは



これらの活動を通して、子どもたちが「自分の力で 創造的に 対話やつながりを感じながらよりよく解決していく姿」へと成長し、確かな自信を持って力強く歩いていってくれることを願っています。

そして、学校、地域、家庭——それぞれが役割を担い、子どもたちの未来を共につくる。宗賀小学校のコミュニティ・スクールの取り組みは、その連携の輪の中で成り立っています。

これからも地域と学校、家庭とが、よりよくつながり支え合いながら、地域を愛する宗賀の子どもたちを育てていきます。

育みたい資質・能力〈領域〉

**自律性を育む 〈自律〉**  
 他者（もの・こと・人）との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。  
 他者（もの・こと・人）との関わりの中で、自分自身のあり方を問いながら、自分の行動をよりよくつくる姿。

**〈対話〉  
 コミュニケーション力を育む**  
 自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。  
 子どもが、ことばを用いて他者（もの・こと・人）と適切に伝え合う姿。

**〈創造〉  
 創造力を育む**  
 自分にとって初めてのものや価値を創り出す力。  
 知識や経験、技能、感性等を駆使して、音楽表現、造形・絵画表現、身体表現、発想をする姿。

**論理的思考力を育む 〈論理〉**  
 知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。  
 子どもが、既習の知識や経験を用いて、対象がもつ文脈を訪ね探したり、問題を明らかにしたり、道筋を立てて問題を解決したりする姿。

**〈探究〉  
 探究力を育む**  
 物事の本質を探っていく力。  
 子どもが、物事の真相・価値・あり方について、意欲的・計画的に道筋をたどり明らかにする姿。

- ・地区文化祭への参加～子ども作品展示、絵画・ふるさと学習「すかの」の作品展示
- ・金管バンドの発表の場の工夫
- 地区文化祭  
平出運動祭り（西部中と共催など）  
学習支援サポート
- 低学年生活科の学習、  
図工のカッターを使った学習の見守り
- ・PTA 作業、校庭整備、樹木剪定
- ・平出考古博物館との学習を通じた連携

学校での取り組み

- どんぐりの森
- 椎茸こまうち
- ヤマメの放流
- 森の健康診断
- 生活科 川遊び
- どんぐりの森コンサート
- 「すかのの畑」作物栽培
- 【宗賀の日】  
・ちくわかしー（給食）  
・縦割り焼き芋会
- とうふ作り
- 安全の日
- 地域での見守り

地域での取り組み

- 「すかのの畑」作物栽培
- 【宗賀の日】  
・ちくわかしー（給食）  
・縦割り焼き芋会
- とうふ作り
- 安全の日
- 地域での見守り

家庭での取り組み

- ぶどう栽培体験
- ぶどう園見学
- バケツ稲栽培
- しめ縄作り
- 金管クラブ支援
- 平出遺跡公園・博物館

子どもの取り組み

- 読み聞かせ
- 式典つば花
- 環境整備
- ふるさと学習「すかの」  
もの作り、バレーボール  
洗馬探検、どんぐりプロジェクト  
スポーツ吹き矢、福祉学習
- 生活科遠足
- 地域学習
- 奈良井宿

どんぐりプロジェクト

すかのわくわくルーム

地区夏休みイベント・夏祭りへの参加

- 施設訪問
- 公民館の清掃
- 地区夏休みイベント・夏祭りへの参加
- 平出遺跡祭り・ナイトミュージアム
- 地区運動会
- 地区文化祭への参加（金管バンド・コミスクフェスタ）
- どんぐりの森コンサート
- 地区分館行事 参加
- 地区文化祭への手伝い
- 分館行事への参加

令和7年度 宗賀小学校 学校支援計画

内容	全体	学習支援部	特別支援教育支援部	キャリア教育支援部	すがのわくわくルーム支援部	読書活動支援部	安全・安心支援部	部活動支援部	学校環境整備支援部
4月	協議会・研修会・行事等 9日・小委員会(学運協地教協打合) 18日・学校運営協議会① 地域教育協議会① (ボランティア奉足の会) 21日・4年ジャガイモ植え 22日・交通安全教室② 23日・4年しいたけ駒打ち	すがの、歴史・調理・補修・農業 どんぐりプロジェクトとの連携 すがのの畑打合せ4/10 畑作支援 (すがのの畑・学級園) ジャガイモ植え(4年)4/21 椎茸駒うち4/23(4年)4/23	行事支援	ぶどう栽培 ぶどう栽培体験(5年生)	わくわくルーム支援 わくわくルーム支援 児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動 蔵書点検・ボランティア募集 読み聞かせ活動 読書の要望にあわせて月1~ 2回、月・金)シールド 読み聞かせ活動 (各 クラスの要望にあわせて月1~ 2回、月・金)シールド	安全パトロール (熊対策安全見守り) 安全の日4/7 安全パトロール 22日交通安全教室①	金管クラブ 練習・運搬補助 金管バンド(通年) *練習予定(都合の良い日) 1年生を迎える会入場曲	入学式生花 生花・環境整備
5月	8日・3年人参種まき 14日・サツマイモ植え (可能なら親子レク) 16日・3年ヤマメの放流 17日・PTA作業① 22日・3年ヤマメの放流予備日 31日・運動会	にんじんの種まき(3年)5/8 サツマイモ植え(1年)5/14 奈良井川 ヤマメの放流 5/16 (3年)	・畑 ・バケツ稲体験	ぶどう栽培体験	児童の見守り 花壇作業	読み聞かせ活動	安全の日5/1 安全パトロール	運動会へ向けての練習	PTA作業① メイン花壇・理科園耕運 機土起こし・肥料入れ
6月	4・5日・プールの清掃 10日・大豆の種まき(2年) 17日・中学校区学運協・小中合同打ち合わせ 会(洗馬小) 19日・5・6年参観日	大豆種まき(2年)6/10 どんぐりの森探検引率補助	・どんぐりの森探検 引率	ぶどう栽培体験	児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	安全の日 6/3 安全パトロール	6/1 宗賀小運動会	5日 プール清掃① 6日 プール清掃② 校庭 草刈り
7月	1日・1・2年参観日 11日・3・4年参観日 24日・中学校区小中CS交流会(総文) 25日・遠足下見	ジャガイモ収穫(4年)		ぶどう栽培体験	児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	安全の日7/1 安全パトロール	博物館祭り・玄蕃まつりへ向 けての練習 校内ミニコンサート *休日練習も	
8月	31日・PTA作業②			ぶどう栽培体験	児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動		博物館祭りへ向けての練習	PTA作業②
9月	4日・ふるさと学習すがの①AM 11日・ふるさと学習すがの②AM 18日・ふるさと学習すがの③AM 19日・地域公開参観日 宗賀の日① 26日・4年森の健康診断 29日・4年森の健康診断予備日	人参の収穫 ふるさと学習すがの① ふるさと学習すがの② ふるさと学習すがの③ サツマイモ収穫(1年)		ぶどう収穫体験	児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	安全の日 9/1 安全パトロール	博物館祭り・音楽会へ向けて の練習 *休日練習も	
10月	2日・ふるさと学習すがの④ 3日・1・2年遠足 15日・遠足予備日 19日・CSフェスタ2023(ふるさと宗賀展) 31日・音楽会	ふるさと学習「すがの」④ 1・2年生活科遠足引率 畑の片づけ (すがのの畑・学級園)		ぶどう収穫体験 (ぶどう園見学)	児童の見守り	読み聞かせ活動	安全の日10/1 安全パトロール	13日塩釜南部地区吹奏楽祭 19日宗賀地区文化祭 31日 音楽会	
11月	8日PTA作業③ 12日・宗賀の日②(縦割り焼き芋会) 14日・学社連携・協働フォーラム 19日・学運協地教打ち合わせ16:00	宗賀の日②11/12 (縦割り焼き芋会)	宗賀の日②	宗賀の日②	児童の見守り 宗賀の日② プランター・花壇作業	読み聞かせ活動 宗賀の日② 来入見保護者会活動紹介	安全の日11/4 安全パトロール 宗賀の日②	校内ミニコンサート	メイン花壇・理科園耕運 機土起こし、肥料入れ
12月	19日・職員合同学校運営協議会③	しめ縄作り(2年)	しめ縄リースづくり		児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	安全の日12/1 安全パトロール	メモリアルコンサートに向けて	
1月	21日・学運協④打ち合わせ16:00	大豆の加工(2年) とうふ作り	・ピザづくり		児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	安全の日1/8 安全パトロール	18日メモリアルコンサート	
2月	6日・5学年参観日 10日・3・4年参観日 13日・1・2年参観日 14日市CS連絡協議会CS市民集会 17日・6年参観日 27日・学校運営協議会④17:00 ・地域教育協議会②16:00				児童の見守り プランター作業	読み聞かせ活動 図書館環境ボランティア	安全の日2/2 安全パトロール		
3月	17日・卒業式	畑耕し			児童の見守り プランター作業		安全の日3/2 安全パトロール		卒業式生花

# 洗馬っ子スクール

(洗馬小学校コミュニティ・スクール)

《地域とともにある、みんなの学校》をめざし活動しています

～今年度の活動の様子より～

## 雛飾りやこいのぼりの展示・片付け



昔から伝わる季節の行事を子どもたちとともに大切にしていきたいです！



## 読み聞かせボランティア



お互いに楽しみなひとときです

## 遠足の安全見守り



1年生が桔梗ヶ原まで歩けたのは、見守りのおかげ

## 妙義山への登山(2年生)



急な山道も、ボランティアさんと一緒に登れたよ！

## ささら踊りの指導



運動会で一緒に踊り、伝統をつなぎます

## クラブ活動の講師(地域の特色や歴史を知ってもらう機会として)



《地域探検クラブ》  
洗馬焼きについて説明や和兵衛窯の見学



《郷土料理クラブ》  
おやき、わらび餅、五平餅などを作って味わい大満足



《茶道クラブ》  
お茶のたて方や基本の所作を学ぶ機会に

### 持久走記録会の見守り



ボランティアの方々の見守りで、安全に走れます

### ピアノコンサート(年2回)



10年前に修復された91歳のピアノを奏でます



楽しいトークとともに、アンサンブルセバスチャンのお二人による素敵な音色が響き渡りました。

### 金管バンド指導



アドバイスをいただき上達しました

### 洗馬小コミスク festa 2025



洗馬地区文化祭での展示発表



金管バンドのステージ発表で地域を盛り上げよう！

### 夏休み宿題応援隊



分からないこともすぐに聞けてやる気が出るよ！

### 校地内の環境整備



子どもたちが過ごしやすいように環境整備



### 洗馬っ子スクールだより編集



年2回の発行に向けた編集会議

コミュニティ・スクールの活動について、理解と協力を得られるよう『洗馬っ子スクールだより』の内容も工夫しています。さらに、活動内容が、マンネリ化せずレベルアップしたものになるよう、協力者を増やす工夫も考えていく必要性を感じています。

今後も、子どもたちとボランティアのみなさんがつながることで、双方が元気になり、地域とともにあるみんなの学校となるよう歩んでいきたいと思ひます。

育みたい資質・能力〈領域〉

学校での取組み

地域での取組み

家庭での取組み

子どもの取組み

自律性を育む 〈自律〉

他者（もの・こと・人）との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。  
他者（もの・こと・人）との関わりの中で、自分自身のあり方を問いながら、自分の行動をよりよくつくる姿。

コミュニケーション力を育む

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。  
子どもが、ことばを用いて他者（もの・こと・人）と適切に伝え合う姿。

創造力を育む

自分にとって初めてのものや価値を創り出す力。  
知識や経験、技能、感性等を駆使して、音楽表現、造形・絵画表現、身体表現、発想をする姿。

論理的思考力を育む 〈論理〉

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。  
子どもが、既習の知識や経験を用いて、対象がもつ文脈を筋が解いたり、問題を明らかにしたり、道筋を立てて問題を解決したりする姿。

探究力を育む

物事の本質を探っていく力。  
子どもが、物事の真相・価値・あり方について、意図的・計画的に道筋をたどり明らかにする姿。

～学校運営協議会熟議で話し合った内容～

- ・重点1 「楽しみに至る関係づくり」  
あいさつ・学級づくり・異学年交流
- ・重点2 「楽しみに至る学びづくり」  
「できた・わかった」がある授業、「興味関心」がもてる授業
- ・重点3 「特色ある教育活動」  
シタス栽培、インジョイタイム、弁当の日、ピアノコンサート、地域学習

ピアノコンサート

地域の方々との交流、演奏体験（大勢の人前）、プロの演奏聴講

91歳のグランドピアノ

奇蹟ピアノや音楽について学ぶ（歴史・構造・演奏体験）

ささら踊り（運動会・地区文化祭）

踊りの体験と披露、ささらについて学ぶ（歴史・仕組み）

お雛様・鯉のぼり

飾付けの体験、伝統文化を地域の人から聞く

おにぎりの日

食育文化の学習

花壇作り

花の栽培補助

読み聞かせ

読み聞かせ（大人→子ども、高学年→低学年）

シタス栽培

地域産業の体験、歴史生立ちを学ぶ

地域学習

洗馬の地域性を学び発表、地元の方の協力

畑の世話

資源物回収

遠足・地域探検付添  
ルールを守る安全指導

地区文化祭・コミスクフェスタへの参加（金管バンド・クラブ作品展示・活動紹介）

地区行事への参加

地区文化祭への参加

洗馬っ子スクールだより

本洗馬歴史の里資料館

体験的活動（地域講師）

焼き物	詩吟	郷土料理	地域探検	酒造 美寿々
絵手紙	ゲートボール	写真	茶道	岩垂原メルロー
囲碁将棋	バドミントン	織物	金管バンド	薬草

薬草園

種類や効能を学ぶ

漢字検定

企画～運営と検定補助

登下校見守り

夏休み宿題応援隊

洗馬公民館と共催

星空観察教室

洗馬公民館と共催

クマ対策

安全見守り

シイタケ栽培

PTA作業

環境整備（草刈り・落ち葉掃除）

校地内の草刈り、校庭の草退治

体育的行事補助

令和7年度 塩尻市立洗馬小学校洗馬っ子スクール活動計画

名	称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	キャリア教育 支援部	4日 入学式 15日 ①学運協①地教協 ボランティア紹介式	31日 運動会 (・ささら点検) ・運動会 ささら踊り練習 ・妙義山登山 案内	26日 地域公開参観日 13日・27日 クラブ活動	4日 クラブ活動 24日 小中合同研修会 合同学運協	29日 クラブ活動 29日 クラブ活動 全4回まとめの会		18・19日 festa2025 24日 音楽会 ・洗馬地区 文化祭参加		11日 ③学運協		1年生 お雛様飾り	4日 ④学運協 ②地教協 17日 卒業式 4日 まとめ 来年度の計画
2	学習支援部	・シニタケ栽培培活動 補助 児童館での 学習支援 金管練習補助		・習字指導 (3年)		・夏休み宿題応援隊 (洗馬公民館)	・生活科遠足付添 い(1年)	・洗馬地区 文化祭参加		・星空観望会	・習字指導 (書き初め)		4日 まとめ 来年度の計画
3	特別支援部	・土づくり他	特別支援学級授業 参観 ・畑種まき		・畑の世話	・畑草取り ・畑の収穫	・畑収穫						4日 まとめ 来年度の計画
4	環境支援部	【校庭周辺】 洗馬スホ協 野球少年団 草刈ボランティア	【校庭周辺】 24日(土) PTA作業	【校庭周辺】 野球少年団	【校庭周辺】	【校庭周辺】 野球少年団	【校庭周辺】	【校庭周辺】	【校庭周辺】 8日(土) PTA作業	【校庭周辺】 ①体育館回り ②通学路点検	【校庭周辺】 ①体育館回り ②通学路点検	【校庭周辺】 ①体育館回り ②通学路点検	4日 まとめ 来年度の計画
5	安全支援部	7日・8日 児童集団登校 下校指導 ・登下校の見守り	【校舎周辺 中庭含む】 24日(土) PTA作業	熊対策 放課後パトロール	熊対策 放課後パトロール	熊対策 下校指導		熊対策 放課後パトロール 20日 持久走記録会見守 り	熊対策 放課後パトロール PTA作業	熊対策 放課後パトロール	下校指導		4日 まとめ 来年度の計画
6	読み聞かせ支援部		部員顔合わせ	・読書週間 ・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	夏休み	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日 ・読書週間	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	4日 まとめ 来年度の計画
7	広報支援部	HP更新	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより(18号)洗馬 地区全戸配布	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより(19号)発行	4日 まとめ 来年度の計画
8	ピアノ支援部	ピアノ利用委員会 と打ち合わせ		21日 ピアノコンサート					15日 ピアノコンサート			ピアノ週間 (24日~27日)	

# 塩尻西部中学校 コミュニティ・スクール ～地域に学び、地域に返す！地域とともに育つ学校！～

## 1 学年 ふるさと学 ～地域の「もの」を味わう～

地域の特産品「ぶどう」の栽培、ジャムへの加工、廃材となるワインパミスを用いた製品開発を通して、他にも本山そば、洗馬焼き、平出遺跡等、地域の「もの」を再発見しその魅力を味わいました。自分たちが地域のためにできることを、具体的に考えていく生徒の姿が見られました。



## 2 学年 ふるさと学 ～地域の「ひと」を知り、魅力を伝えよう～

いきはたインタビューや職場体験学習等を通して、地域で活躍する「ひと」の、働くことに対する想いや願い、苦労ややりがいを知り、その「ひと」の魅力を保護者や仲間に発信しました。地域の「ひと」との学習を基に、自分の将来を考え、夢や希望をもつ生徒の姿が見られました。



## 3 学年 ふるさと学 ～地域の一員として、地域づくりに参画しよう～

これまで2年間取り組んできたふるさと学を振り返り、地域の魅力を再認識するとともに、地域の課題を洗い出し、地域の一員としてその解決方法を考えたり地域貢献活動に取り組んだりしました。友だちと共同して、課題の解決に向けて主体的に活動に取り組む生徒の姿が見られました。



## 地域の方々に支えられて 地域ボランティア

施設環境支援部の方々を中心に行われた「草刈り作業」。読書支援部の方々による「読み聞かせ」。学習支援部や学生にお手伝いいただいた「Sタイム」「夏休み学習支援」。家庭科のミシンの授業では、地域の有志の方々が生徒たちに使い方を教えてくれました。様々な形でのご協力に感謝です。



学習支援



ミシンの補助



草刈り

# 孫の手プロジェクト

本校の生徒たちは、これまで地域の皆様に様々に関わっていただきながら、コミュニティ・スクールを通して大きく育てていただきました。その生徒たちが、地域の皆様に恩返しをすることを願い、地域貢献活動「孫の手プロジェクト」を昨年度より始めました。この「孫の手プロジェクト」のネーミングは、孫世代の中学生たちが地域の力になるように、そして孫の手のように地域の困りごとのお手伝いができるように、という願いを込めて生徒が考えました。



孫の手プロジェクト運営会議



洗馬ふれあいフェス



夕暮れ食堂

## 交流

## 広報



信濃毎日新聞様からの取材がありました



夏休み学習広場



ブドウ収穫

## 農業



洗馬元町機井泉神社お祭り

## 伝統



桔梗ヶ原神社しめ縄作業

来年度に向けて  
今年度は、昨年度まで職員が担っていた運営の一部を生徒に委ねて活動しています。運営本部の生徒たちは、「孫の手」を増やすための工夫を考えたり、プロジェクトの更なる発展のために試行錯誤したりと、主体的に取り組む姿がたくさん見られます。今後、孫の手プロジェクトがさらに自走し、地域に根付いていくための仕組み作りを、生徒・地域・学校が知恵を出し合って考えていきたいと思ひます。

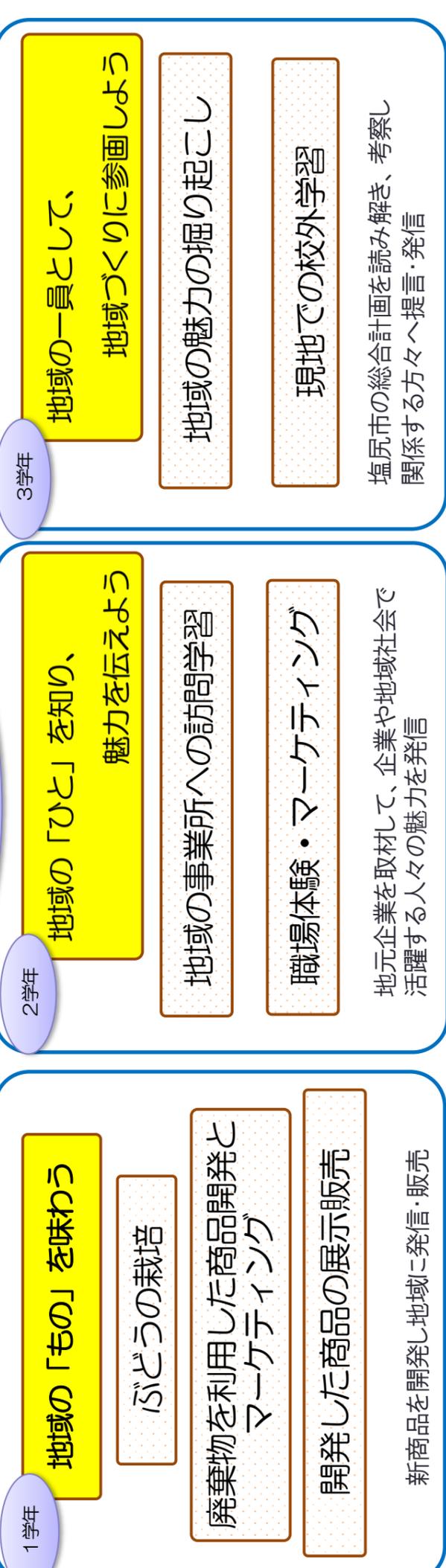




持続可能な地域産業を創出する人材育成

探究型教育 & 人材育成プログラム **ふるさと学**

塩尻市をもっと知ろう 地域について学びを深めよう



- 育みたい資質・能力（領域）
- 予測困難な時代（VUCA）
- 個と学校のウェルビーイングを目指して
- 探究力を育む〈探究力〉**
    - 「好き」「楽しい」「なぜ」「なぜ」に出会う
    - 自ら課題を見つげ追究する
    - 感動体験を得る
  - 創造力を育む〈創造力〉**
    - 価値をつくり出し主体的に取り組む
    - 自分で考えて、自分で行動する
    - 自らを表現する
  - コミュニケーション力を育む〈表現力〉**
    - 自分と相手を思いやる豊かな感受性
    - 仲間と協働し納得解を導き出す
    - 自分の考えを広め、深める
  - 粘り強く取り組む〈継続力〉**
    - 困難や苦難を乗り越える
    - 最後まであきらめずやり遂げる
    - あらゆるケースを想定し、柔軟に対応する
  - 情報を収集する〈情報処理能力〉**
    - ICTを適切に活用する
    - 信ぴょう性を見極め取得する
    - 情報を生かし論理的に考える
- 大切にしたいこと**
- 「ふるさと学習」では、「自ら課題を発見し、問いや仮説を立てながら、解決していく力（探究力）」「課題を自分ごととして捉え、意志を持って取り組む力（主体性）」「他者と協働し、価値を生み出す力（共創力）」を身につけることを目的としています。ふるさと学での「コ・クリエーション（共創）」を通して、地域、企業、行政、学校が一体となって取り組んでいきます。

令和7年度 塩尻西部中学校 地域教育協議会年間活動計画

(令和7年4月1日)

名称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会 研修会	入学式 /24第一回学運協 /24第一回地域教育 協議会			/24第二回学運協			/31CSフェスタ 家庭科授業支援16 日～11月11日地 域支援延べ14人参加	家庭科授業支援11 月27日まで 11/14 13:35～JA塩尻/本 山そばの里/歴史資 料館/平出遺跡館長 /平出中野さん他支 援活動	/15第三回学運協		/26第四回学運協 /26第二回地域教育 協議会	
部会名称					夏ゼミ 初旬の3 ～4日間		放課後学習 オリジナルノートを作ろう 家庭科授業支援	第三回11/10 Sタ イム オリジナルノートを 作ろう			第四回 2/9 Sタイ ム	
1 学習 支援部 特別支援教育 支援部			第一回 6/17 Sタ イム			第二回 9/8 Sタイ ム						
2 読書活動 支援部				読み聞かせ 7/9 朝 8:10～8:25					読み聞かせ 水曜 日の朝 8:10～8:25			
3 キャリア教育 支援部	二月末剪定 葡萄剪定	葡萄消毒作業 葡萄誘引作業		葡萄学 14日笠掛 作業原さん二名		9/16葡萄収穫作業 今井道の駅加工所 へ葡萄搬入						
4 安心安全 支援部 (見守り)			草刈り6月14日			PTA作業						
5 施設環境 支援部			6月14日 熊対策 通学路の草刈り地 域11人先生6人参加			PTA作業 9/13 8時から校内 草刈り作業						
6 部活動 ・課外活動 支援部			通年部活動指導 体力づくり支援									
広報活動 ボランティア 募集	学校ホームページ で活動紹介 学校だより活用			24/25/30宗賀公 民夏ゼミ	25宗賀公民館夏ゼ ミ 洗馬公民館夏ゼミ		家庭科学習支援募 集宗賀地区 洗馬 地区吹奏楽フェスタ 参加					

# 檜川から



# 未来にはばたく

そして…

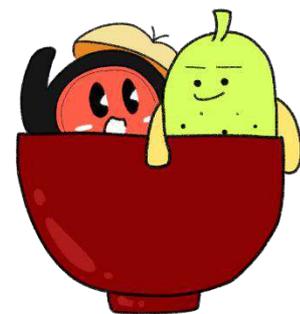
～輝く夢を携えて・気魄に燃えて～



## 感じる

切磋琢磨し、多様性を包み込む豊かな心

- 地域を知る
- ◇学びの基礎を習得する



### 檜川の学びを支える3つのK

## 語り合う

協働し、未来の自分を想像しようとする力

- 地域と協働する
- ◇自ら問いをみつけ、対話的に学ぶ態度を習得する

## 考える

自ら問いを持ち、主体的に探究する力

- 地域とかかわる
- ◇自ら学ぶ態度・方法を習得する

### 義務教育学校で学ぶ

少人数を生かしたきめ細やかな学習

専科教員による授業・TT支援

連学年・縦割り班による授業・諸活動

外国語・国際交流活動

コミュニケーション能力

### ふるさと檜川に学ぶ

漆器産業：ものづくり

観光（宿場町）産業

地域のひとから学ぶ

地域のひとと学ぶ

自然

文化

歴史

# 1年間の主な学校行事



## 4月

- 入学式・1学期始業式
- 避難訓練
- 授業参観・PTCA総会
- ボランティア顔合わせ会・学校運営協議会・地域教育協議会
- 1年生を迎える会
- 春の交通安全教室
- 9年修学旅行



## 5月

- 櫛川探検
- たてわり清掃
- わかば給食
- PTCA作業
- 運動会



- ならにこカフェ 漆器販売会
- 授業参観・地区懇談会
- ふるさと漆器学習
- プール開き

## 6月



## 9月

- 防災訓練
- スペシャル・グローバル・デー
- 4年森の健康診断
- 櫛輝祭（文化祭）



- 4・5年臨海学習
- 8年キャリア研修旅行
- PTCA救急法講習会
- 1学期終業式 夏休み
- 後期課程個別懇談
- 8年職場体験
- 学校運営協議会
- 川中に学ぶ（公民館連携講座）

## 7月

## 8月

- 林中に学ぶ（公民館連携講座）
- 2学期始業式



## 10月

- イワナの産卵場学習
- 6年修学旅行
- 5,6年漆器販売会
- 保小なかよし交流
- お話の時間プレミア
- なら大フェスタ

## 11月

- なかよし月間
- 避難訓練
- ふれあい給食
- やきいも会
- 授業参観日
- オーストラリアとの交流



## 12月

- 学校運営協議会②
- 保護者懇談会
- 2学期終業式
- 年末休業



## 1月

- 年始休業 冬休み
- 3学期始業式
- ふるさと漆器学習
- スキー教室



## 3月

- 9年生を送る会
- 3学期終業式
- 前期課程修了式
- 卒業証書授与式
- 年度末休業



## 2月

- 学校運営協議会③
- 地域教育協議会②
- ボランティアお礼の会
- 6年生ありがとうの会



# 檜川小中学校コミュニティ・スクール

檜川から未来へはばたく そして・・・



檜川小中学校は1年生から9年生と一緒に学んでいます

檜川小中学校は市内唯一の義務教育学校です。令和6年度より小規模特認校として塩尻市内のお子さんが一定の条件のもと通える学校となりました。

1年生から9年生まで82名が、一つの校舎で学んでいます。地域とともに特色ある教育をすすめています。

## 様々な先生との授業

職員の専門教科による授業がすすめられています。



英語の授業



算数の授業



理科の授業



体育の授業



家庭科の授業



美術科の授業

## 地域の方から学ぶ学習

自然・伝統・産業・人・歴史を題材に、教科を横断した学習を行っています。地域の方々とも連携し、課題解決力を養っています。



木曾漆器祭・奈良井宿場祭で、学校を開放し、全校でお客様をもてなします。(全校:ならにこカフェ)



地域の歴史・文化を知り、地域の特色や課題について考えました。(後期:キャリア研修旅行)



地域の特色や課題から自分たちができることを考えました。(後期:地域貢献活動)

## 檜川の学びを支える「3つのK」

檜川小中学校では、学びを支える「3つのK」(感じる・考える・語り合う)を大事にしています。地域とともに、檜川から未来にはばたきそして…夢や志をもち自立して生きていく児童生徒を育てていきます。

### 感じる

切磋琢磨し、  
多様性を包み込む豊かな心



### 考える

問いを持ち主体的に探究する力



### 語り合う

協働し、未来の自分を  
想像しようとする力



## 檜川の学びを支える地域のみなさん

学校運営協議会、地域教育協議会を中心に、檜川の児童生徒を地域のみなさんで支えます。



4月の地域教育協議会ではボランティアさんと学校職員で今年の活動について話し合いました。子どもを育てるために何ができるか、話し合いました。

## 教育活動

地域の方やボランティアの皆さんに学びを支えていただいています。地域の自然・文化・歴史・ひと・もの・こと、に関わりながら体験的に学んでいます。ふるさとに愛着や誇りを感じ、ものごとや学習に自分から働きかける主体性を育みます。



**オーストラリアとの交流**  
年3回、インターネットでライブ交流をします。積極的に会話をしました。



**スペシャルグローバルデー**  
模擬海外旅行やプレゼンテーション、フリートークにより国際感覚を養います。



**プリンタプロジェクト**  
エプソンの協力により、実物を通して他国の文化を知ることができました。



**短期留学生の受け入れ**  
短期留学の友達と共に学ぶ中で、他者理解、多様性の受け入れを学びます。



### たてわり活動

様々な場面でたてわり活動を行い、他者への配慮、責任感を養います。



### たてわり給食

年に2回、たてわり班で給食を食べます。写真は春の「わかば給食」の様子です。



### たてわり清掃

期間を決めて行います。上級生も下級生も自分の分担に責任を果たします。



### 5年～9年 児童生徒会

後期生を目標に、5年から9年生までが協力し活動をしています。



### 連学年活動

連学年、異年齢での授業を行っています。写真は3年生企画のお楽しみ集会です。



### 地域探検

積極的に地域に出かけ学びます。後期課程でも改めて地域を探究します。



### 自然の中で遊ぶ

前庭の自然の中で五感を働かせて遊びます。枝や小石で創造的に遊びます。



### 畑づくり

地域の方が土を耕やしてくださいます。今年はサツマイモが大豊作でした。



### 保育園との交流

隣接の環境を生かし、保小の交流活動を繰り返し行っています。



### 朴葉まきづくり

郷土食を作りながら異世代の方と交流します。郷土への愛着も育みます。



### 森の健康診断

塩尻市森林公社と連携し、森林と環境・防災の学習を体験的に学習します。



### 羽淵キウリの学習

栽培に取り組んでいる方の思いに触れ、地域の宝を大切に受け継いでいきます。



### イワナの産卵場づくり

奈良井川源流で、イワナ の環境保全活動に取り組みました。



### 萌生の里との交流

高齢者を思いやり相手に合わせて伝えたり、楽しませたりすることを学びます。



### 育てる漆学習

毎年一回、給食で使う自分のお盆に漆をかけます。卒業まで大切に使います。



### ならにこカフェ

相手のことを考えながら接客します。コミュニケーションの力も高めます。



### ならにこ漆器会社

活動の理念をもとに組織を立ち上げ、協調しながら販売活動を成し遂げていきます。



### 樽川PR活動

木曾漆器の広報活動を行い、地域の伝統文化PRに貢献します。



### 園児さんとのふれあい

中学生が幼児とふれあう中で、他者への配慮や幼児への温かいまなざしを育みます。



### 運動会

後期生、地域も一緒に楽しめます。6年生が主体となって進めます。



### 文化祭(樽輝祭)

後期生主体で進めます。合唱、個人発表、表現、たてわり企画などを発表しました。



### 漆の木工製作

前期課程で習った摺り漆の技法で、制作した木工作品を仕上げます。



### キャリア研修旅行

他地域の街づくり、働く人々との対話から、自分たちを見つめ直します。



### 職場体験

体験やインタビューから、働く人の思いや考えを体験的に学びます。



### 江戸ウィン平沢

地域を盛り上げたいという  
願いから主体的に企画し課  
題を次につなげました。



### 謎解きブックづくり

学んできたことを生かし、  
地域の観光ガイドブック作  
成に協力しました。



### 江戸ウィン

企画を立案し実行する中で  
協調性や交渉力、柔軟な対応  
力等を身につけていきます。



### なら大フェスタ

他者意識をもって発表し、学  
習の価値をとらえなおし、次  
年度の活動につなげます。

## 公民館 放課後講座 なららクラブ

檜川公民館主催で、地域の方を講師にした放課後講座「なららクラブ」を開催して  
います。学校の放課後を利用し、1年生から9年生までだれでも自由に参加できま  
す。



工 作



ニュースポーツ



ベースボール



将棋かるた

## 公民館 特別講座 川中に学ぶ／林中に学ぶ

「川中に学ぶ」「林中に学ぶ」は、自然豊かな檜川小中をフィールドに  
した、夏休みの特別講座です。川遊びや森遊びのプロとともに、  
アクティビティを楽しみます。



川中に学ぶ (檜川公民館講座)



林中に学ぶ (檜川公民館講座)



## ふりかえり

地域の方々との関わりを取り入れた学習により、社会性や多様なコミュニケーション能力を育むとともに、地域社会における自己の役割とキャリア意識の醸成という面で成長につながってほしいと願っています。全国学力学習状況調査においても前期課程で「難しいことにも失敗を恐れず挑戦する」「自分にはよいところがある」といった挑戦意欲と自己肯定感が非常に高いことがうかがえました。

この高い自己肯定感をエネルギー源として、より主体的・協働的な課題解決学習や探究活動を全教科で展開していくことが求められます。「なら大(総合的な学習の時間)」では、生徒自らが問いを立てて探究する経験を通し、学習への内発的動機付けを高めることを目指していく必要があります。教師は、生徒の「できる」という自信を「知りたい」「やってみたい」という知的好奇心に結び付けるため、ファシリテーターとして伴走する姿勢を大切に、次年度以降の学習活動を仕組んでいきたいと思ひます。



たのめ  
**地域とともに 「憑の里」 で生きる**  
**両小野学園コミュニティ・スクール**

辰野町  
小野保育園

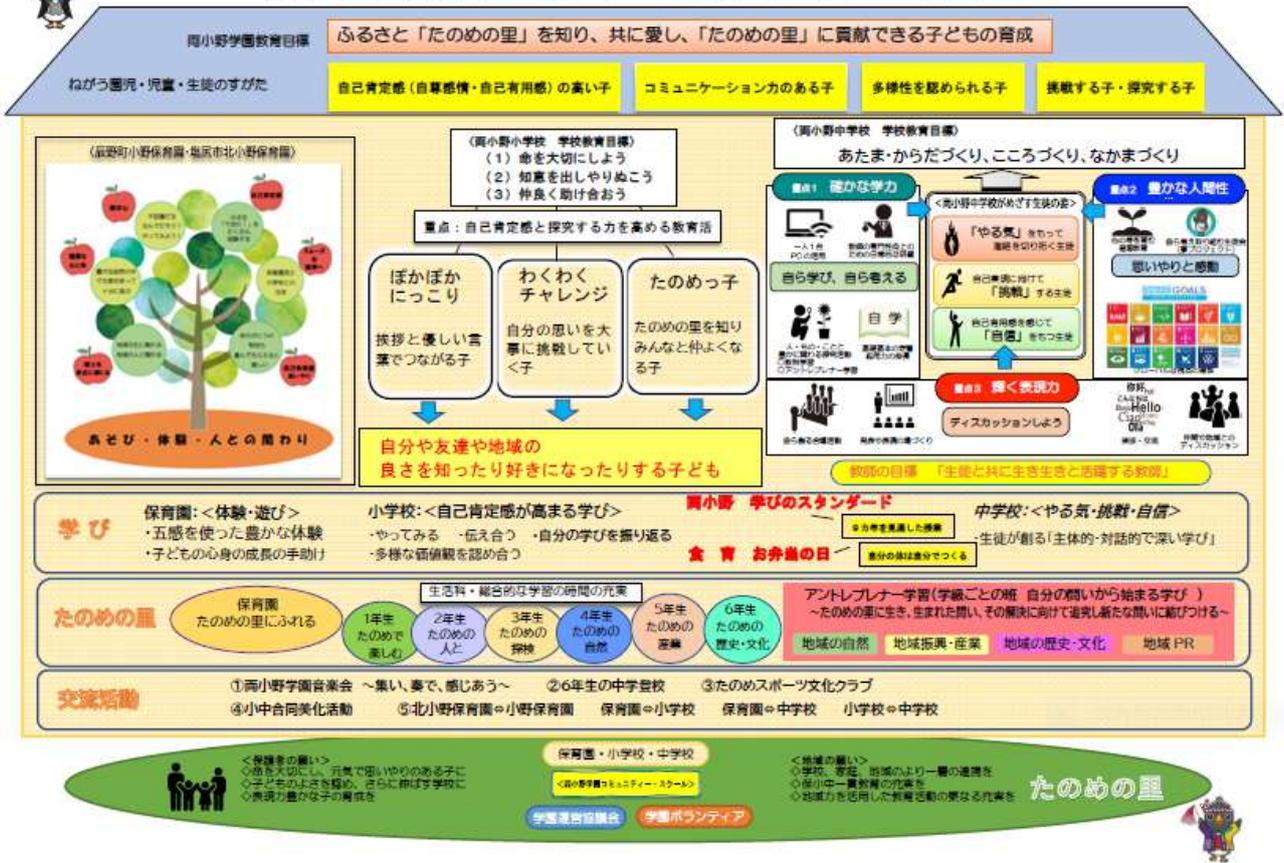
塩尻市  
北小野保育園

辰野町塩尻市小学校組合立  
両小野小学校

塩尻市辰野町中学校組合立  
両小野中学校



令和7年度 両小野学園（保・小・中一貫教育）グランドデザイン



**両小野学園運営協議会**

地域委員会・学園支援委員会・評価委員会・広報委員会の4つの委員会で構成され、年に4回開催されています。

今年度は、第2回の両小野学園運営協議会で日赤長野県支部 防災教育アドバイザーの古村 幹夫様を講師にお迎えしての避難所設営ワークショップを行い、学園運営協議会の皆様と両小野小学校・両小野中学校の職員が協力してワークショップに取り組み、防災について思いを深めることが出来ました。また、今年度は、両小野学園あり方検討準備委員会を立ち上げ、人口減少に伴う両小野小学校・両小野中学校の今後の在り方を見出していくための土台作りを行いました。第3回の学園運営協議会で、両小野学園あり方検討委員会設置要綱が承認され、来年度からの本格始動のための準備が整いつつあります。

また、今年度は初めて保小中合同で引き渡し訓練が行われ、災害に備える意識を学園で共有することが出来ました。



# 北小野保育園・小野保育園

## 保育園同士の交流



〈合同遠足〉 荒神山スポーツ公園



〈どろんこ交流〉



〈音楽会に向けての制作交流〉

## 地域との交流



〈小野神社例大祭〉



〈きりとう訪問〉



〈JAの方と大根種まき・収穫〉



〈うとうくん訪問〉

## 地域ボランティアさんとの交流



苗植え



栗拾い



リコーダーコンサート



フラダンス



マジックショー



ギターコンサート



絵本の読み聞かせ



霧訪山登山



コカリナコンサート

## 小中学校との交流



〈1年生との太鼓交流〉



〈中学生と地域の方とジャガイモ掘り〉



〈両小野中学生との交流〉



## 世代間交流



〈両小野学園音楽会〉

# 両小野小学校

地域の「ひと、もの、こと」とつながろう



<ボランティアさんといっしょに>



<ボランティアさんによる  
読み聞かせ>



<金管バンド:地域での演奏>



<1年生:きりとうさんとの交流>



<2年生:ボランティアさんと  
大豆の種蒔き>



<3年生:地域の施設へ  
花のプレゼント>



<4年生:親水公園で水遊び>



<5年生:ボランティアさんと  
米作り>



<6年生:中学校登校で  
部活動体験>



<お礼の会:日頃お世話になっているボランティアさんに感謝の気持ちをお伝えしました>

のため  
「憑の里」両小野学園の中学校として

両小野中学校



昨年度から再開された両小野学園音楽会では、司会進行や会場の片づけを行い、何よりも歌声で中学生としての姿を示してくれました。



今年度から本格導入されたボランティア認定制度。地域のボランティアへの参加がとても活発になりました。2学期の終業式で、学園運営協議会会長より認定証が授与されました。



霧訪山の開山式では、生徒が手作りしたコースターや乾杯の飲み物を参加者の皆さんに手渡しました。地域の山に多くの方が訪れるようお願いを込めました。



両小野小学校の運動会にうとうくと一緒に参加しました。1年生は今までの後輩である小学生のみなさんに中学生になった姿を見てもらいました。



学区のもみじ山に、塩嶺カントリー様から寄贈していただいたもみじの苗木を地区の財産区の議員さんたちの手ほどきを受けて植えました。



古田 晁記念館のぶどうの袋掛けのボランティアでは、地域の方の手ほどきを受け一つ一つ丁寧に袋をかけました。地域の方々にまた一つ出会いました。



北小野地区の運動会のボランティアには多くの生徒が参加して、運営にあたっただけでなく、競技にも参加して運動会を盛りあげました。



1年生が地域の達人の手ほどきで注連縄づくりをしました。お正月飾りの意味も教えていただき、日本の文化の理解も深まりました。

## <アントレプレナー学習> たのめ 憑の里の一員として、地域の課題に向き合う

昨年度までは縦割りのグループで活動してきましたが、今年度は各学年で、地域のために自分たちができることを考え、地域の方にご協力をいただきながら活動してきました。

11月には学園運営協議会委員や保護者、地域の皆様にお越しいただき、発表会を行いました。どの発表も内容が充実していて、自分たちが追究してきたことを発表する姿はとても堂々としていました。

### 1学年(地域のためにできること)

1学年では5つのグループに分かれて、地域の魅力発信や地域をより良くするための活動を行いました。地域の自然と歴史がテーマのカレンダーや、地域の建物の写真を使用したカードゲームといった、地域の方々に両小野の魅力を発信する活動。地域の観光地をテーマにしたCM作成や両小野地域外の人をターゲットにしたとう君キーホルダーの配布といった、地域外へのPR活動。地域の危険な場所を調べて注意を促す交通安全ポスター制作。それぞれが、「自分たちの住む両小野をもっと素敵な所にしたい」「もっとたくさんの人に知ってもらいたい」という思いをもって活動しました。活動を通して、地域のために自分たちができることを考え、積極的に学校外の方々と関わろうとする姿がありました。



### 2学年(両小野PR活動)

2学年では両小野地域を多くの人に知ってもらうために、地域の魅力を調べ、発信する活動を行いました。両小野の伝統行事や、おいしい野菜などを調べたり、地域の名所を調べたりして、観光客向けのマップ作りをしました。調べたことは、SNSやホームページで発信中です。

加えてパンフレットとしてまとめ、配布する予定です。

この活動を通して、普段何気なく過ごしている地域にも多くの魅力や価値があることに気づくことができました。また、調べ学習や話し合いを通して、地域の良さを改めて見つめなおし、自分たちの言葉で伝えようとする意識が高まりました。



### 3学年(地域の未来を考えよう)

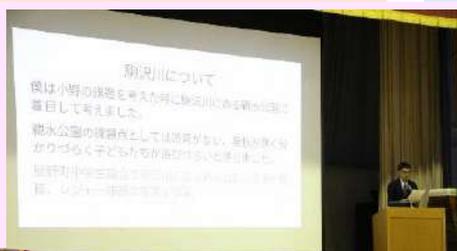
3学年では、地域の未来を考える「辰野町の中学生議会グループ」と「霧訪山について考えるグループ」、「土真ん中ウォーク実行委員会」の3グループに分かれて活動を行いました。辰野町中学生議会グループでは、地域の課題や解決策を考え、それを「ほたるの里中学生議会 2025」で発表しました。霧訪山について考えるグループでは、霧訪山をさらに良くするために何ができるかを考え、登山道に登山者用のベンチを製作、設置しました。土真ん中ウォーク実行委員会では、史跡説明やスタンプラリーの準備を行い、当日もスタッフとして土真ん中ウォークに関わりました。

どのグループにおいても、地域の未来を考えたり、貢献できることを考えたりしながら、活動を行いました。



### アントレプレナー学習発表会

地域の方とたのめ憑の里のよりよい未来について意見を交換しました。



## 〈日本土真ん中ウォーク〉

今年度は日本土真ん中ウォークに全校で参加しました。3年生の土真ん中ウォークグループは運営に携るためにアントプレナー学習で5月から取り組んできました。1, 2年生はウォークに参加したり、うとうくんグッズ販売を行ったりしました。史跡案内をすることを通して地域の歴史を学び、実際にウォークに参加することを通して地域の豊かな自然を感じ、のための里への愛着を深めることが出来ました。



3年生の手作りマスコットを配布しました



3年生が史跡案内をしました



うとうくんのグッズ販売をしました



うとうくんグッズやマスコットを宣伝しました



それぞれ選んだ距離を歩きました  
一番人気は 8km のコースでした

## 〈北小野地区文化祭（ショートブリリアント活動）〉

地域の方を講師にお迎えして参加希望の生徒を対象に行ってきたブリリアント活動ですが、今年度は、ショートブリリアント活動のみを行い、活動の成果を北小野地区の文化祭で発表しました。また、ボランティアで北小野地区の文化祭の運営に生徒が参加し、地域の一員としての意識を高めることが出来ました。



吹奏楽部の演奏



「ショートブリリアント 茶道講座」の  
皆さんが先生のお手伝いをしました

「ショートブリリアント ダンス講座」  
の皆さんの発表



進行やステージの準備や片付けを  
行いました



「ショートブリリアント 写真講座」

### 成果と課題

- ・今年度は初めて、小野保育園・北小野保育園・両小野小学校・両小野中学校合同で引き渡し訓練が行われました。昨年度末に合同準備会を行い、5月に実施しました。学園で協力して災害に備えることが出来ました。課題に基づいた見直しを今後行っていきます。
- ・ボランティア認定制度を開始したことがきっかけとなり、生徒が地域で活躍する場面が増えました。地域のために活動することの良さと感じ、のための里への愛着が深まりました。

### 来年度改善点・方向

- ・昨年度まで夏休み中に行われてきたロングブリリアントを今年度は行わず、夏休みのボランティア活動への参加を促しました。今年度の振り返りを行うとともに、地教協と共通理解のもとで進められるよう連携を図っていきます。

# 《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る



## 塩尻東小学校 学校運営協議会長 宇治橋 邦彦

10年目の今年を振り返って

学校と地域が相互に輝けるように懸け橋となるCS活動ですが、新型コロナウイルスの影響でかなり阻害されました。10年目を迎えた本年はコロナ禍以前のように、生活や私達の気持ちも戻りつつあります。人と人と人の絆が我々の活動の源泉となるので、改めて活力ある活動をしていきたいと思います。ただ、課題として地域の活動を支える方々が固定化される中、新たな人材を見出すことは容易ではありません。当地域に限らず人口減少、高齢化が進んでいるのは事実です。

学校を中心とし地域のコミュニティが形成されます。なので、CS活動、ボランティア活動を幅広く広報し、理解し協力していただく方法をこれからも模索し、実行し、11年目からの活動を更に充実したいと思います。

## 塩尻東小学校 地域教育協議会長 足助 照夫

コミュニティ・スクール10年目を振り返って

コミュニティ・スクールも節目の10年目を迎え学校と会員にはだいぶ浸透して来ましたが、保護者と地域の皆さんにはまだまだ認知度が低いように感じます。

学校と教育委員会のPRもさることながら、我々も地道に地域の方に伝える努力を心がける時期に来ていると思います。

私は小学校・中学校・高校と関わっておりますが、児童・生徒からの認知度が高まり年月を重ねるたびに挨拶や感謝の声のトーンが大きくなり、人数が増えているのを実感しております。子どもたちからの言葉に加え先生方からの同様の声掛け！その全てが私の日々のエネルギーと原動力になっています。

少子高齢化の時代、地域活性化に繋がる「子供たちの笑顔のために」CS活動のPRを続けていきたいと思っています。



## 塩尻西小学校 CS会長 郡上 典雄

コミュニティ・スクール（以下、「コミスク」）10周年おめでとうございます。十年ひと昔とは言いますが、継続には関係者のひとかたならぬご苦労があつての成果と思われまふ。私自身も年数を満たしてはいませんが、かかわりを含めた感慨は一入のものがあります。

さて、コミスクは、最近の言葉と思われがちですが、思い起こせば、実は昭和年代も早いうちに学校を中心にした、いわゆる学校支援活動は行われていました。長野県内では、公民館活動がいち早く行われたという走りも受けて、私自身が体験で思わされた事例が2件ほどあります。

その1つは、学校をメインにした文化祭会場開放です。今でも記憶にあるのは、祖父に連れて行ってもらった教室内の食堂風景です。彷彿させられます。時は昭和30年代初期の時代です。当時は学校は地域に開放していただけていました。2つ目は、地区の区民運動会です。当時の運動会は、地区の大きな総合イベントでした。実は、この運動会に学校職員が役員、選手としてグラウンドで大活躍しておりました。当時、中学生だった私も当時の先生方から激励をいただき、お陰様でマラソン大会において準優勝した忘れ得ぬ思い出があります。

コミスクの今後には、昔のような学校、地域の再燃をと願っている老爺のつぶやきです。

## 塩尻西小学校 CS副会長 千葉 周一



私が西小学校運営協議会との関りを持ったのは、今から10年前の五番町区長を任命され区長会の充て職で運営協議会の委員に充てられたのが始まりです。それまで学校関係は、息子の中学高校のPTA役員ぐらいしか縁がありません。

当初どのように対応してよいのか不安だけが脳をかすめておりましたが、協議会委員の顔ぶれに知人が多く多少安堵したのを覚えています。

回数と年を重ねるごとに、地域の課題を提言して学校と地域の繋がりを深めれば、子供たちの援助になるのではと考えるようになりました。

行きついたのがおはよう先生の「ちばじい」であります。毎朝玄関口で300余名の西の子の孫たちと挨拶をかわし元気もらっています。

「ちばじい おはよう」と孫たちは明るいです。

## 塩尻中学校 学校運営協議会長 平林 袈裟雄



十年ひと昔と言いますが、Z世代は半分の5年位、α世代はもっと短い感覚のようです。学習指導要領は、文部科学省が告示する初等教育及び中等教育における教育課程の基準となっています。教科書や時間割は、学習指導要領をもとに編成され、加えて子供たちにその時代に合った教育を提供しようとおよそ10年毎に改定されてきています。2012年以降の高校数Iの教科書に突如として現れた四分位数と箱ひげ図が、

2021年度から中学2年で学習するようになりました。なんと親世代の多くが学んでいないこの分野が、令和5・6・7年度の公立高校の入試にも出題されました。子供たちは、論理的思考やデータ分析のスキルを学ぶ機会が増えています。今後生成AIの活用や規制等も含め各校のグランドデザインも、時代のニーズに応じ大きな変貌を遂げていくと思います。

## 塩尻中学校 地域教育協議会長 丸山 典子



されど10年！最初にCSの話を受けた時、理想的だけど学校・家庭・地域の連携は簡単ではないと尻込みした私に、地域連携コーディネーターだった池上先生が「やる気のない人は要らない、やりたくない人はやらなくて良い。」と一蹴。

ではお試しでと、塩尻中学校の学運協副会長を引き受けました。その後、後任選任が難航した地教協会長も務めることになりました。塩中のCSは地域ふれあい学習として地元の講師の方々と様々な講座を通して全ての生徒が関わり、やりたい、知りたい生徒と専門の知識や技量を教えたい、伝えたい講師の方々との思いで続いてきました。時代と共に、地域との関りが薄くなってきていた生徒が、地域の人と直接関わることで、その魅力と共に、地域への関心や愛着を感じてもらおう一助になったのではないかと思います。

心残りは、未だに「CSって何？」とその認知度が上がらないことですが、それもいつか解消されることを願っています。

## 学校支援コーディネーター 堀籠 愛由



塩尻市のCSが発足して10年目の記念すべき年に、学校支援コーディネーターとして採用していただきました。これまで「市民」や「母」としての生活では気づくことがなかった、地域の魅力や結束、そして多彩な才能に圧倒される日々を過ごしています。

また、それをスポンジのように吸収し、私たち大人の想像をはるかに超える子どもたちの生命力に触れることは、非常にドラマティックです。

CSは、長年大切にされてきた想いを基盤に、その時々のご縁によって発展していくものだと感じています。他県出身、県内に親族もない私が、この先10年後にはどのような塩尻の魅力に魅了されているのでしょうか。自身もその都度のご縁に身を委ね、楽しんでいきたいと思っています。

# 《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る



## 桔梗小学校 学校運営協議会長 小野 伸二

桔梗小学校はCSを通じ育てたい子どもの姿として「人とのつながり」を目指し動き始め、学校と地域・保護者の皆様が協働し取り組み早10年目を迎えました。代表的な取組は、職業や仕事に興味や関心を広げる「キッズお仕事チャレンジ」や「チャレンジクラブ」です。

数多くの皆様が「子どもの未来を地域で育む」の理念のもと、CS活動を通じて人と人との繋がりが生まれ、子どもたちを中心に安心や喜びを感じ、時として哀しみを癒し一緒に楽しんで活動しております。

桔梗小学校はその校区が新興住宅に位置し、伝統も浅い比較的新しい地域にありますが、この地域にしかできない創意工夫をしたCS活動をより一層発展・進化できれば幸いです。

文末になりますが、今日まで桔梗小学校のCSにお力添えいただきました地域の皆様、学校関係者の皆様、PTAの皆様に感謝とより一層のご支援・ご協力をお願いします。

## 桔梗小学校 地域教育協議会長 横山 朝征



平成の終わりから学校に関わり始めて9年目になりました。はじめは何をすべきなのかよくわからないながらやっていたので、周りの方のアイデアの実現をお手伝いする関わり方をしていました。そうして関わるうちに「なんのために活動をするのか」を考えるようになりました。例えば「コロナで入場制限がかかってしまったから、来られない人のために運動会をライブ中継する」といったことです。「子どもたちのために」というのが大きな目的なんですが、具体的な課題に対して何ができるかを考え実行するのが大切なのかなと感じています。「できる人ができる事をできる時に」の精神で、活動を楽しみつつ学校に貢献していければいいなと思っています。



## 広丘小学校 学校運営協議会長 三沢 昌樹

地域と学校を繋ぎ、お互い寄り添う関係を作りたい、そんな想いで活動しています。地域や街は人によって成り立っていく。

歴史と伝統を守り、そして広丘の街の魅力を伝えていく事で、子ども達が「住んで良かった」「これからも住み続けたい」そういう想いになってくれる事、それが街の活気と繁栄を維持していく上で大切な事だと思っています。

地域の大人が仕事をしている姿や、子ども達を想う気持ちを届けたい。

地元企業との繋がり、そこで働く大人との関わり、広丘だから出来る事を広丘らしさで考え続けていきたい。

## 広丘小学校 地域教育協議会長 太田 秀保



### “ひろおか奨善塾”の今後を憂う

平成9年から学校開放講座として始まった「ひろおか奨善塾」、コロナ禍での3年間は止む無く中止としましたが、CS活動の大事な柱となっています。平成10年代は学校の先生方が講師でしたが、20年代になって地域の方を講師に招き、体験を通して学びを深める場として発展してきました。24年度からは学校、PTA教養部と広丘公民館の三者が立案し、講座を開いてきました。現在、学校運営協議会も一役を担っています。今年も開講しましたが、広丘公民館の共催がなくなり、地域とのつながりが希薄になってしまいました。30年近く脈々と続いてきた**活動の今後を考える大事な時、皆の知恵と協力で乗り切ろう**と思います。

## 広陵中学校 学校運営協議会長 薄田 利秋



「ローマは一日にして成らず」との格言があります。同様に「コミスクも一日にして成らず」です。実践集を最初から繕えます。創立30周年記念事業では「カリヨンの響きとともに30年、過去から学び新たな次代へ」をコンセプトに掲げました。

校歌大合唱は圧巻で、その感動は今でも残っています。校歌カリヨンには時空を超えた命への愛、大地への慈しみ、見知らぬ世界への誘いなど、生徒たちがこれから社会、人生を拓く牽引力となるでしょう。近時、広陵中に新たな風が流れています。キャリア教育「生き方ダイアログ」、市長との意見交換会、3年生が地域での合唱発表交流会など生徒の主体的活動による地域の人との対話と学びが生まれています。次代を目指し楽しく歩み続けます。

## 広陵中学校 地域教育協議会長 松本 弘幸



コミスクが発足し10年が経ちました。思えば広丘地区公民館長を終え、広陵学区の初代コーディネーターの話があり辞令を受け、登校する直前の3月末脳梗塞になり入院となりました。辞職を申請したのですが、治癒してからの登校でよいですと言われ引受けてしまいました。きつかった1年でしたが、広陵学区3校の校長先生はじめ多くの先生方に助けられどうにか役目を果たすことが出来、後遺症も残らず退任できました。

その後も続けて広陵学区に関わることが出来、現在まで広陵中の地域教育協議会の会長を継続しています。学区3校を見回すと緑化環境にやささか問題ありの提案をしながら、自分が得た知識や技術を活かしやってみて、継続性を強く感じています。スマホやタブレットの活用は教育形態や生徒たちの受け止め方法が大きく変わっている一面だと感じています。

## 学校支援コーディネーター 唐澤 理恵



塩尻市がコミュニティ・スクールを導入しようとしていた当時、私は桔梗小でPTA活動をしていました。「市が何か新しいことを始めるらしいよ」という当時の会長のお話がきっかけで、PTAとしてこの活動に関わることになりました。

当時は、自分がコーディネーターを務めるとは夢にも思っていませんでしたが、いざ始めてみると、自分にはまだ知らない地域の世界があることを知り、コミュニティ・スクール活動の面白さに魅了されていきました。

その魅力の根源は、子ども達だけでなく、学校に関わる地域の皆さんがとても魅力的だったことです。桔梗・広丘・広陵、どの地域の大人も、まるで自分の子や孫のように子ども達を思い、サポートして下さいます。そんな素敵な大人たちに、子ども達や先生方をたくさん合わせたい。その一心で、これまで活動を続けてきました。

自分にできることは何か？と日々自問自答しながらではありますが、先生・地域・子ども達のつながりを支えていきたいと思っています。

# 《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る

## 片丘小学校 CS会長 小松 秀樹



片丘小学校のCSでは、会議の前に全員で片丘小学校の校歌を歌います。片丘の子ども達を地域の真ん中に置き、子ども達と共に学校や地域で「片丘愛」を育んでいきたいという思いからです。ボランティアの皆さんも、子ども達を温かく囲んでくださっています。

10月の土曜日には「つながろう片丘 開校記念の日」を開催しており、学習成果の発表、地域イベント、公民館の「夕やけの丘コンサート」など、片丘で最も大きなイベントとなっています。児童や保護者はもちろん、保育園児や地域の皆さん、中学生や高校生も参加しています。開催に向けて、実行委員会を何度か開いて準備を進めています。夏休みには、子ども達の夏の思い出づくりとなる企画も行っています。

当コミュニティ・スクールが学校を核とした地域づくり「スクール・コミュニティ」につながればと思います。

## 片丘小学校 CS副会長 山崎 昭子



学校運営協議会が片丘小に設置された当初から関わっていますが、最初は何をするのか、又、何の目的で行われるのか、わかりませんでした。塩尻市で出された第二次教育振興基本計画が策定され、基本理念「一人ひとりの育ちに、ていねいに向きあう教育」又、育てたい人間像として、1「社会を生き抜く力」、2「郷土を知り誇りと愛着を持ったひと」が掲げられ、協議会の会を重ねるごとに少しずつですがわかってきて、学校と児童が地域に目をむけるようになり、また、地域、ボランティアの人たちが学校に目を向けるようになりました。

片丘小学校150周年を迎え、それを機に、学校が中心になり、地域・児童・保護者・ボランティアの方々と一緒に、「つながろう片丘開校記念の日」が立ち上がりました。とてもすばらしい事業だと思います。この事業を通して新しい学校を創っていくことに少しでもお役に立てればと思います。そして片丘が学校を中心に住みたい地域になって行く事を願っています。

## 吉田小学校 CS会長 岩井 雄一郎



区長に就任すると同時に、吉田小学校の学運協会長にとの連絡が。学運協って何か当時は知りませんでした。吉田に住み始め、学校との接点が無かったからです。少し勉強して夏ゼミを行っていることを知り、ラジオ体操、昼食会、勉強や元気に遊ぶ風景も眼のあたりにしました。

2年前にこども未来、こどものやすらぎ、学びお助けの3つのプロジェクトを新設。それぞれのメンバーが中心となって行事を実行していくようにしました。丘中生徒による支援活動、田川生き物観察、ノートパソコンの解体、将棋、俳句、エプソン広丘事業所見学等、多くの支援をいただき暑い中でも子どもたちの生き生きとした姿に感激。今後も楽しみながら一緒になって活動していきます。

## 吉田小学校 CS副会長 熊澤 千奈美



吉田小コミュニティ・スクールを構成する3プロジェクトの一つ「やすらぎプロジェクト」でこども食堂「ちごちご広場」を立ち上げて3年目になりました。毎月最終日曜日に吉田東公民館で主にカレーや炒飯などを提供しています。

協力してくださるスタッフは10人を超え、校長先生も調理に加わってくださる中で、学校に行かれない子どもさんが校長先生とテーブルを囲んで会話を楽しんでいる姿が見られるようになりました。最近は開場前に来て、会場づくりから野菜洗いなど自分たちができることでお手伝いをしてくれます。

初めて出会った頃は上目遣いで無口だったその子が、今では元気に挨拶してくれるようになり、その成長が嬉しく、学校と地域の協働体制の大切さを感じています。

## 吉田小学校 CS副会長 荻無里 立人



子どものPTAで毎月吉田小に通ったのはもう20年以上前のことでした。このことがきっかけで都合7年間PTAに関わることになり、PTAは「すべては子どもたちのために」の一点で活動する組織であることを学びました。今年から吉田地区の公民館役員になったため、CSに関わることになりました。学校と子どもたちを取り巻く環境が20年前とは全く違うことは分かっていたのですが、それは予想を超えていました。

学校や子どもたちの環境を地域だけで作ることはできないとしても、地域も「すべては子どもたちのために」の視点で課題を明らかにして解決に向けた方策を少しでも前に進めることができればと思っています。

## 丘中学校 CS会長 手塚 優子



私がCSの会長になった時、前会長が開いた『カフェ丘』のおかげで、丘中学校には地域の人が学校にいるのが当たり前なことに驚きました。カフェ丘の準備のために学校に行くと、「こんにちは！」という生徒と先生の元気な挨拶が私たちを迎えてくれます。学校とは縁遠くなった私のような普通の地域住民でも、学校でできることがあるのは嬉しく有難いです。地域に開かれた丘中学校に、今年『松の間』という地域の人誰でも利用できる居場所ができました。ルールはたったひとつ。いつでも生徒が自由に遊びに来れることです。家族や先生でない大人と生徒が触れ合うことのできる居場所をもっと地域に知ってもらい、丘中学校に関わる人を増やしていきたいです。

## 丘中学校 CS副会長 北濱 博義



丘中で組織された学校運営協議会委員となり、コミュニティ・スクールとカフェ丘にも関わらせてもらうようになってから、かなりの年数が経っていますが未だに、委員として何をすべきかといった基本的な役割が漠然としたままです。そんな中で最近感じていることは、カフェ丘の開設時間が水曜日2時間目後とお昼休みのわずかな時間だけなのに、生徒たちが実に嬉々として遊びに熱中してくれていることです。100均で買ったという子供だましみたいなチャチな遊具や、手作りの小さな卓球台でも、力を加減し、時には思い切り力を発したりして楽しんでいるのを見ると、できることなら毎日でも開設してやりたいと思うくらいです。

## 学校支援コーディネーター 池上 良満



平成27年度の1年間で市内小中学校全校を対象に、学校運営協議会と地域教育協議会（地域学校協働本部）の立ち上げ準備を完了し、翌平成28年度から市内小中学全校が市からコミュニティ・スクール指定を受け活動を開始し本年度で早10年が経過しました。

この間各校では特色ある地域学校協働活動が展開され、地域と学校とのつながりがより強固なものとなってきたように思えます。

学校も含めた地域が、優しい温かい心で結ばれた安心安全で幸せに暮らせる地域となるのが、コミュニティ・スクールの大きな目的です。

まだまだ10年です。これからもこの大きな目的に向けて力を合わせ、心豊かで温かな、だれにも優しい地域づくりをしていきたいものです。

## 《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る



### 宗賀小学校 学校運営協議会長 丸山 保

コミスク10年目、当初「地域は何をしたらいいのか？」から始まったが、心配をよそに宗賀小から積極的な攻勢を受けた。既存の行事への参加は勿論、人手不足で出来ない行事などへのお手伝いを提案してきた。そこで以前からあった、読み聞かせ、ブドウ栽培、生け花、等々の活動の他、「学校からの要望には全て対応する」という考えで「何でも屋」の学習支援グループを作った。グループは宗賀地域振興会の中の「どんぐりプロジェクト♪」を母体にして、行事ごとにリーダーの采配でその道のプロを随時集め対応をしている。今では子ども達とも馴染んで、一緒に遊んでもらっている。この集団も、高齢化が進みいかに若い人を引っ張り込むかが課題である。

### 宗賀小学校 地域教育協議会長 木村 奈都



私は、読み聞かせの活動を中心に宗賀小コミュニティ・スクールと関わってきました。毎月2回ほど実施される読み聞かせは、子どもたちと一緒に物語の世界を楽しむ幸せな時間です。また、年間を通しての活動なのでクラスとして成長していく姿も見守ることができ感動します。

コミスクがスタートして10年、宗賀小ボランティアは人数が増え幅も広がり学校との繋がりも強くなりました。毎年、先生方や子ども達と一緒に様々なチャレンジをし、変化を続けてきました。ただ、子ども達への眼差しは変わらなかったように思います。

子ども達が今も未来も笑顔でいられるよう、これからも子ども達や先生方と一緒に考えて楽しんでいきたいと思っています。



### 洗馬小学校 CS会長 大栗 克実

CSがスタートして10年目、洗馬小学校では、地域住民などの善意で修復できた「寄贈ピアノのコンサート」、ささらを地域の皆さんと一緒に作り運動会で踊る「洗馬民謡のささら踊り」、地区全戸に配る「洗馬っ子スクールだより」など、他にも地域の皆さんに応援して頂いている活動が沢山あります。これら全ての活動は、多くの人達が苦しんだコロナ禍でも、皆さんの工夫と努力・協力により途切れる事もなくのり越えてきました。

これからはICT教育も更に進展して周りの環境も大きく変わって行くと思われませんが、CSの活動も時代の変化に応じてレベルアップをしながら継続し、地域と学校が協働して子ども達が新しい時代に向かって、大きく羽ばたける様に努力して行きたいと思っています。

## 洗馬小学校 CS副会長 波多野 光男



この10年間、支えていただいた多くのボランティアの方に敬意を表します。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。学運協の会議の中で熟議の時間があります。私は当初苦手でした。なぜなら今まで経験した会議は受動的な立場が多く、また自分の回りに子どもの存在がなく、「意見など出ないよ」という考えがありました。共感される方と、反面「思ったことを言えばいいよ」という方もいらっしやと思います。実際、熟議が始まると多くの発言があり時間が足りないうらい盛況な会議となっております。今でも苦手意識はありますが、終わってみると達成感と連帯感があります。これからも多くの意見を出し合ってより良いCSにしていきたいと思います。

## 塩尻西部中学校 学校運営協議会長 三溝 隆



「子どもたちが地域に返してくれる！」  
令和7年4月から会長として関わらせていただいている洗馬公民館の三溝です。この役割を担ってから、ボランティアの皆さんが、草刈り等の環境整備、読み聞かせ、「ふるさと学」等様々な形で子供たちと関わってきていることを知りました。西部中では昨年からは、子どもたちが主体的に地域に恩返しをしていく「孫の手プロジェクト」という活動が始まりました。この活動の中で、地域の祭りやイベントに参加してくれる子どもたちの生き生きとした様子を見ると、「こんなにフレンドリーなんだ」、「このまますくすく育てほしい」と感じたり、子どもと大人も「人と人」だと思わされます。

これらの活動が無理なく継続していってくれればと願っています。

## 塩尻西部中学校 地域教育協議会長 横山 裕美



「小学校で読み聞かせしてくれましたよね～」数年前買い物の際にレジ担当の学生バイトらしき若い女性に声をかけられました。また2021年に塩尻西部中1年生の上高地・乗鞍校外学習に付き添いで行った時、宿泊した部屋を掃除してくれた男子生徒が「小学校で読み聞かせをしてもらいました。声で分かります。」と言っていました。2人とも良くぞ覚えていてくれました。感謝感激です！ 塩尻市コミュニティ・スクールは今年10年目ですが、学校支援ボランティア制度はすでに20年程前にスタートしていました。コミュニティ・スクール、とは「地域の学校、です。この先ずっと地域の大人と子どもがお互い感謝をしながら交流し続けていけたら最高ですね！

## 学校支援コーディネーター 山本 栄次



地域と学校との関わり方について  
地域と学校との関わりは、子どもたちの健全な成長を支えるうえで欠かすことのできない大切な連携だと思えます。学校は、学習や生活を通じて子どもの知育・徳育・体育を育む場であり、地域は子どもたちの生活の基盤です。双方がそれぞれの役割を尊重しながら協力することで、子どもたちに豊かな体験を提供し、より良い教育環境を築くことができると思います。特に、地域の大人が子どもと関わることで、世代間の繋がりが生まれ、又地域全体の温かい風土が生まれ、子どもたちが地域の歴史・文化・産業に触れる機会を得ることは、将来の地域づくりを担う人材を育てることに繋がると考えます。

# 《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る



## 榑川小中学校 学校運営協議会長 小林 宏克

長男が9年生だった当時、「江戸ウィン」に陰から携わりました。奈良井宿で生徒たちが時代衣装を着て堂々と物怖じすることなく観光客相手にイベントを運営している姿を見て、キャリア教育を通じて地域愛を育む活動を垣間見ることができました。

これはほんの一例で、今ではいくつものキャリア教育やボランティア活動に地域の方々携わり学校を活性化、そして地域も活性化という好循環が生まれています。本校は、義務教育学校として他地域から児童生徒を受け入れていますが、それでも少子化による児童生徒の減少を食い止める事が難しくなっています。我々の次のミッションは、観光業や漆器職人などを志す若い移住者を呼び込み持続可能な学校、地域にしていく事です。

## 榑川小中学校 地域教育協議会長 酒井 慶太郎



令和4年小中一貫とする義務教育学校（9年制）への転換は、学校また地域にとって大きな変化、中学校校舎は廃校となり小学校校舎に統合。小中一貫への転換は、メリットが多い印象。少人数ながら異年齢で学ぶ姿は、運動会、またその他の発表会等で地域の方々にも、その良い効果が分かりやすく伝わる。前後の異なる学年が同じ時間、同じ教室で授業を受ける連学年での学習は、音楽、体育などのジャンルではとても良い効果を発揮。一方、入試などにつながる主要科目は単学年での授業継続が望まれる。今後は、令和7年からの小規模特任教員制度を最大限活用し、域内で急激に進む少子化に対し、生徒数を維持することが課題。磨けば光る宝（自然、文化、伝統）、多く眠るこの地、明るい未来への可能性を信じます。



## 学校支援コーディネーター 重 勇雄

学校支援コーディネーターとして勤め始め一巡りした今年、新たなスタートを切った。

地域の顔でありベテランのTさんから引き継いで一年が経った時、自分の力不足を感じた私は、「務まるのか？」と感想を持った。前教育長さんが「…学校のこと分かるのが強み」と言っていたことと「できないところはそれなりに理由があり、できているところもそれなりに理由がある」と励ましてくれた、今は同僚の立場で勤めるIさんからの言葉が支えとなりこれまで務めてきた。そして何よりも、地域の方々のお姿が私の背中を押し続けている。地域とともにある学校・地域に支えられた学校（榑川とともにある・榑川に支えられた榑川小中学校）により子どもたちの笑顔が生まれてくる。その一助となれるよう、目の前の課題に取り組んでいこうと思っている。

# 《特別寄稿》コミュニティ・スクールの11年を振り返る



## 両小野学園 学校運営協議会長 小野 芳幸

両小野学園がコミュニティ・スクールとして歩みを始めてから11年、地域と学校が一体となり、子どもたちの成長を支える数々の取組が積み重ねられてきました。その成果は、地域の誇りであり、未来への礎でもあります。私はこの4月に会長を拝命し、まだ1年の経験しかありませんが、少子化の進行により学園の在り方を改めて検討すべき時期に差しかかっていると強く感じています。これまでの11年の歩みを大切にしつつ、次の10年に向けて、地域と共に新たな形を模索し、持続可能な教育環境を築いていくことが私たちの使命だと考えています。そして、子どもたちの笑顔を守り続けるため、地域の知恵と力をさらに結集していきたいと思えます。

## 両小野学園 地域教育協議会長 神戸 保



平成23年、全国の先進地視察や、地域懇談会を重ね小中一貫教育「両小野学園」がスタートした。小中が連携し、互いに乗り入れながら、地域を巻き込んだ取組が注目された平成27年より、地域と学校がより深くつながり、豊かな子どもたちの成長をあと押しするコミュニティ・スクールが始まった。地域の皆さんが、行政の違いを乗り越え、学園の願いを共有しながら、組織の連携を密にし思いを行動で示すことができたと思う。更に学習支援を通じて、ボランティアが共に学ぶ喜びや、地域住民同士のつながりが深まり、交流の中で、地域課題にも目を向ける様にもなった。コミュニティ・スクールは学校のみでなく、地域を元気にしてくれる「原動力」にもなっていると思う。今後も子どもたちを真ん中に学園を支えて行きたい。



## 学校支援コーディネーター 青木 喜子

両小野学園では、小学校の頃から大豆作り・米作り・水の学習などで、たくさんの地域ボランティアさんに支えてもらっています。地域の皆さんは他にも登下校の見守り、「安心安全の家」の協力、環境整備で草刈りなどもしてくださっています。また、キャリア教育(職業体験等)や両小野の伝統や文化を伝えるクラブ講師やアントレプレナー講師となり、子ども達が地域への愛着を深め、人生が豊かになるお手伝いをしてきています。

ただ、「地域とともにある学校」を目指すこの素晴らしい仕組みがボランティアさんの高齢化という問題をかかえ持続可能な活動ではなくなりつつあります。ある一定の方だけでなく、まずは保護者や地域の方にコミュニティ・スクールをもっと知ってもらい、若い力も巻き込むことが大切だと思います。今はPR不足があるなあ・・・と感じます。また公民館との連携が必須だと感じています。なんなら学校の中に公民館があれば、地域の方も気軽に学校へ来れますし、地域の中心の場となりスクール・コミュニティさえも目指せるのでは？と期待してしまいます。

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」〈2017（平成29）年度策定〉

〈塩尻東小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 心身ともに健康で、元気で意欲的な子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学び、チャレンジする子ども〈課題発見力・解決力や行動する力の育成〉

〈塩尻西小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 他とのつながりを大切にしながら自分を的確・適切に表現できる子ども〈人間関係構築力の育成・人権感覚の育成〉
- あきらめず、前向きに生きられる子ども〈成功体験・チャレンジ精神の育成〉



〈塩尻中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性、自立心・自律心の育成〉

【塩尻中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働しながら主体的に活動できる子どもの育成
- 心身ともに健やかで、自己実現に向け学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈桔梗小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 笑顔があふれ、心が優しい子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 憧れを持ち、夢に向かう子ども〈より高い生き方を求め行動する力の育成〉

〈広丘小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大事にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- よく学び、体を鍛え、夢に向かい進む子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 相手の気持ちが分かり、協調して活動ができる子ども〈愛他心・協調性・チームワーク〉

〈広陵中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【広陵中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働して活動できる子どもの育成
- 様々な課題を解決しながら、自己実現に向けて学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

### 〈片丘小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学びに向かう子ども〈課題発見・解決力、自学力の育成〉

### 〈吉田小〉

- 社会の基本的ルールやモラルが守れ、相手を思いやれる子ども〈社会力・人間力の育成〉
- 自分の将来を描き、それに向かい動く子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 自他の気持ちを理解し、協調して活動ができる子ども〈自尊感情・愛他心・協調性の育成〉

### 〈丘中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども  
〈自尊感情の育成、自他を思いやる心、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども  
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども  
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども  
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



### 【丘中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

### 〈宗賀小〉

- 心身ともに健やかで元気な子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 思いやりにあふれ、助け合える子ども〈愛他心・協調性・人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学べる子ども〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成〉

### 〈洗馬小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども  
〈自尊感情や愛他心の育成、人権感覚の育成、人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学び、夢に向かい進む子ども  
〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成、キャリア教育の充実〉
- 自分の考えを的確に適切に伝えながら、他と協調して活動ができる子ども  
〈コミュニケーション力、愛他心、協調性、チームワーク〉



### 〈塩尻西部中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども  
〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども  
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども  
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども  
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉

### 【塩尻西部中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

楡川中学校区〈楡川中・木曾楡川小〉⇒令和4年度より楡川小中学校（義務教育学校）

【楡川中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 温かい人間関係を築くことができる子どもの育成
- 心身ともにたくましく、自立し、未来を拓く子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語る子どもの育成

【両小野中学校区〈両小野学園〉において保小中一貫した12年間で育てたい子どもの姿】  
ふるさと「たのめの里」を知り、共に愛し、「たのめの里」に貢献できる子ども  
～輝く「あいさつ」・響き合う「歌声」・深まる学び～

〈両小野小（辰野町塩尻市小学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- 「たのめ科」の充実
  - ・地域を知り、地域の方から伝統を継承し学び、地域を愛する子の育成
- 保小中一貫のために
  - ・「保小一貫」：校内巡り、プール交流、給食の試食、児童会祭り招待
  - ・「小中一貫」：6年生の中学校登校〈1ヶ月間〉、地域美化活動
  - ・「保小中一貫」：学園音楽祭



〈両小野中（塩尻市辰野町中学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- アントレプレナー学習、プリリアント学習を通し
  - \*地域を知り、地域の活性化について考え、人々と関わることで故郷を大切に思い、さらに好きになる。
- 「夢プロジェクト生徒会」
  - \*アントレプレナー学習で見いだされた課題を、全校の活動にしていく、地域貢献型の両小野中モデルの生徒会を構想していく。



〈北小野保育園（塩尻市立）〉

- よりよい環境のもとで、のびのび過ごし、発達に応じた活動の積み重ねを行える保育園
- 子どもの個性や特性を大切にし、もっている力を十分に発揮し生活できるよう一人ひとりに応じた支援ができる保育園
- たのめの里の歴史ある郷土の文化を大切にし、「太鼓活動」や「地域ボランティアの保育園参加」を通して、地域を知り地域を愛する心を育てる保育園



〈小野保育園（辰野町立）〉

- 安心して預けられる保育園
- 一人ひとりの子どもの適切な援助ができる保育園
- 保護者と共に子どもの成長を支援する保育園
- 地域ボランティアの協力のもと、地域を知り、地域を愛する心豊かな子どもの育成



塩尻市内の全小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール活動が開始された平成28年度、学校運営協議会の熟議の中で「地域と学校とで協働し、どのような子どもを育てていくのか、その具体的なイメージを地域と学校とで共有する必要がある。」という意見が多く出され、翌年度（平成29年度）第1回目学校運営協議会の熟議（グループワーク）を通し各校のものが策定され、また第2回目の中学校区内小中合同学校運営協議会では「小中の9年間を通し、地域学校協働体制・活動により育てたい子どもの姿（資質・能力）」が策定されました。これらの「姿（資質・能力）」は策定後10年を経過した現在でも各CS活動を推進・評価していく上の指標となっています。

# 塩尻市教育委員会の窓から



2025年度塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

**10年間の成果を感じ、10年先を見据える**  
～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

塩尻市コミュニティ・スクール（以下「コミスク」）が始まって今年で10年目となりました。上記のようなテーマを掲げ、様々な話し合いの場で10年を振り返り、成果や課題を共有し、これから10年先を見据えてどんなことができそうか、話し合う機会がつけられました。

今年度の実践集は、これまでの10年の歩みを振り返ることができるように、学校ごとに10年間の取組をまとめてみました。教頭先生を中心にまとめていただいた取組の様子は、1年間の中では大きな変化を感じる事が少なくても、10年間を続けて見てみると、地道に、着実に歩んできたことによる大きな力を感じることができます。その時その時の子どもたちの成長や学び、関わる先生方、保護者や地域の皆さんの様々なつながりによってこれだけの大きな力になることを実感できると共に、これから先に関わる人がかわっても、地道に着実に取り組んでいくことが、10年先につながっていくことを実感しました。また、コミスクの中心になって関わっていただいている学校運営協議会や地域教育協議会の会長さん、学校支援コーディネーターさんからも特別寄稿として書いていただいています。関わる期間に長短はあっても、その中で直に感じた思いや願いは今後につながる大事なものが詰まっています。

これまで塩尻市のコミスクに温かく関わっていただいた多くの皆さんに感謝を申し上げますと共に、今後も「できることを、できる時に」関わる人が増え、様々な立場の大人が共に語り合いながら、楽しみながら一緒に創っていくことで、子どもたちの笑顔あふれる成長や、つながりのある元気な地域になっていくことを願っています。

## 1 進化するコミスク

第3回学校運営協議会は、各学校で今年度を振り返り、成果や課題を生かして来年度への準備を進める会議として、どの小委員会や協議会でも、学校の熱い思い、地域の受け止め、もっとこうしたらというアイデア等が出されていました。これからもう一步進化するために、形ややり方などを変えてみようという動きが様々なところで見られます。自分たちの学校に合った形で、より活動を広げたり、学びを深めたりしていけるように、また、学校の願いを理解してより強い協力体制で充実した活動にしていけるように、見直しできるところはしていきましょう。

動きのある例をいくつか挙げてみます。

### 学校運営協議会

- 学運協委員の皆さんが参加しやすい時間帯に行く（第2回は先生方が参加しやすい時間帯に）。時間を変えて開催してみる。
- 熟議のテーマをより具体的なもの、誰もが気軽に意見が言えるものにしていく。
- 話し合いの様子や内容を先生方、欠席の委員さん、地域の方に共有していく。
- 全4回の見通しをもって進め、次年度に生かせるようにしていく。
- 一体的な取組を行うために学運協と地教協を一つの組織にしていく。
- 一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

### 地域教育協議会（地域学校協働本部）

- ・ボランティアの皆さんへの連絡方法の見直し（LINE スクールのお試し）。
- ・ボランティアの内容をより具体的に、できるだけ早めに伝えていく。
- ・保護者・PTA の皆さんにも内容を周知して、関わってもらえる人を増やす。
- ・関わっていただいた様子や成果をボランティア・保護者・PTA・地域の皆さん・先生方に周知できるようにする（CS フェスタやお礼の会の工夫）。
- ・一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

今回の会議を通して、コミスクの取組の周知という点が、ポイントになってきていると感じました。まず、学校運営協議会の委員の皆さんにしっかり周知されているか、また周知されたことをそれぞれの立場で発信していただいているか。学校の先生方への周知はどうか。ボランティアの皆さん、地域の皆さんにどれだけ周知されているか。この点を今一度見直していきたいと考えています。

来年度から第6期（11・12年目）がスタートします。改めて、学校運営協議会委員の皆さんに役割や内容が分かるように、これまで続けている方にも確かめができるように「手引き」を作って配布する予定です。

## 2 11年目のスタートに当たって

来年度より、コミスクに関わる名称の変更と確認をお知らせします。

### その1

- 支援から連携・協働、参画の取組みになってきている今、これからも更に協働の取組みが進められるよう、学校支援という言い方をやめます。

学校支援ボランティア → **CS ボランティア**

学校支援コーディネーター → **CS コーディネーター**

学校とボランティアの皆さんとの関係は対等、共に子どもたちのために取り組むパートナーです。そのために「CS ボランティア」という名前にしていきます。

「CS コーディネーター」は、コミスクの地域コーディネーターと地域学校協働活動推進員を合わせた役割です。今後も幅広く学校と地域をつなげていきます。

### その2

- 活動に関わる大人が様々な立場の人になりつつあり、今後も更に様々な職種や立場の人々とつながっていく可能性があります。以下の名称は引き続き使用していきますが、国が発信している言葉と同じ内容であることを知っていただき、CS 活動の内容の充実に役立てていってください。

**地域教育協議会（＝地域学校協働本部）**      **CS 活動（＝地域学校協働活動）**

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えると共に、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

★塩尻市コミュニティ・スクールに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

塩尻市教育委員会 学校教育課 教育企画係（地域連携コーディネーター）

〒399-0738 長野県塩尻市大門七番町4番3号

TEL (0263)52-0280 (代) 内線 3111

FAX (0263)52-4354